

〈特集「他動性」「(連用修飾的)複文」「情報構造と名詞述語文」他〉

奈良田方言：

特集補遺データ「他動性」「(連用修飾的)複文」「情報構造と名詞述語文」「情報標示の諸要素」「否定、形容詞と連体修飾複文」

The Narada dialect of Japanese:

‘Transitivity’, ‘Complex sentences of adverbial modification’,

‘Information structure and nominal predicate sentences’, ‘Markers of information structure’

and ‘Negation, adjectives, and complex sentences of adnominal modification’

阪上 健夫¹, 吉田 雅子², 三樹 陽介³, 小西 いずみ⁴

Takeo Sakagami, Noriko Yoshida, Yosuke Miki, Izumi Konishi

¹ 東京大学大学院

Graduate School of The University of Tokyo

² 大正大学

Taisho University

³ 駒澤大学

Komazawa University

⁴ 東京大学

The University of Tokyo

要旨：本稿は日本語奈良田方言のデータを提供し、特集補遺「他動性」「(連用修飾的)複文」「情報構造と名詞述語文」「情報標示の諸要素」「否定、形容詞と連体修飾複文」(『語学研究所論集』第19-23号, 2014-2018, 東京外国語大学)に寄与するものである。

Abstract: This report contributes to the special cross-linguistic study on ‘Transitivity’, ‘Complex sentences of adverbial modification’, ‘Information structure and nominal predicate sentences’, ‘Markers of information structure’ and ‘Negation, adjectives, and complex sentences of adnominal modification’ (*Journal of the Institute of Language Research* 19-23, 2014-2018, Tokyo University of Foreign Studies), providing data for the Narada dialect of Japanese.

DOI: <https://doi.org/10.15026/0002001056>

キーワード：奈良田方言, 格, 情報構造, 名詞述語文, 複文

Keywords: Japanese Narada dialect, Case, Information structure, Nominal predicate sentences, Complex sentences

1. はじめに

本稿では、前稿(阪上ほか2024)に続き、山梨県奈良田方言について記述する。奈良田は、山梨県南巨摩郡早川町の北端の集落である。奈良田方言は、単語アクセントにおいて上昇の有無と位置(上野1989の「上げ核」)を弁別特徴とするなど周囲の山梨西部方言と大きく異なるため「方言の島」とされ、山梨県の方言区画において山梨東部方言・山梨西部方言と並ぶ独立した区画を与えられてきた(吉田2014: 53)。近年は奈良田方言話者の高齢化と減少がさらに進み、奈良田方言話者どうしが集落内で会話する場合でも奈良田方言を使わないことが増えている(小西2021)。奈良田方言の主な記述的研究として、『奈



本稿の著作権は著者が保持し、クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンス(CC-BY)下に提供します。
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

良田の方言』(稲垣正幸・清水茂夫・深沢正志編 1957), 『西山村総合調査報告書』(西山村総合学術調査団編 1958) 第四編「言語」, 上野 (1975, 1976, 1977, 1981), 小西ほか (2022) がある。本誌特集補遺として「受動表現」「アスペクト」等について報告した前稿(阪上ほか 2024) もその一つと位置づけられる。また, 資料としては『日本言語地図』(国立国語研究所 1966-1974), 『方言文法全国地図』(国立国語研究所 1989-2006), DVD『方言の島 奈良田のことば』(地域資料デジタル化研究会 2013), 「日本の危機言語 語彙データ」(国立国語研究所) などがある。

2. 本稿のデータ

本稿のデータは山梨県奈良田方言の話者の協力を得て行った調査に基づいている。調査ではこれまでの特集で使われてきた例文を奈良田方言に訳していただいた。話者は奈良田で生育し現在も在住の 1934 年生まれの男性 [M] と, 1937 年生まれの女性 [H] と, 1938 年生まれの女性 [I] である。

回答形式は次のように示す。

- 1 行目: 音調記号を付した音素表記。音素表記は小西ほか (2022) に準じる¹。長母音と母音連接を区別するため後者の場合は「*ː*」で音節境界を表す。音調は [*ˆ*] で上昇を, [*ˉ*] で下降を示し, [*ˊ*] で次のモーラのモーラ内上昇, [*ˋ*] で前のモーラのモーラ内下降を示す。文末に「*˙*」(ピリオド) を付す。
- 2 行目: 形態素・語境界を付した音素表記。境界認定の基準は小西ほか (2022) に準じる。形態素分析については前稿から変更した部分がある。
- 3 行目: グロス。稿末「略号一覧」参照。
- 4 行目: 日本語共通語訳。話者 ID [M], [H], [I]。

以下では「他動性」「連用修飾的複文」「情報構造と名詞述語文」「情報標示の諸要素」「否定, 形容詞と連体修飾複文」の順に記す。

3. 他動性 (語研論集 第 19 号)

他動詞の目的語は対格 =o で表される (6-1-a, 6-1-b)。対格 =o は前接名詞と融合し, 前接名詞の末尾母音が長音化して表されることがある (6-1-c)。koros-「殺す」, ojas-「壊す」, nukume-「温める」は目的語となる対象の変化を含意し, 「殺したが死ななかった」のような文は非文となる (6-1-d)。

6-1-a あの男はそのハエを殺した。【直接影響・変化】

[a]no	otoka[a	so]no	ha]io	[ko]roito[o.
ano	otokaa	sono	hai=o	koroi-too
あの	男.TOP	その	ハエ=ACC	殺す-PST
あの男はそのハエを殺した。[I]				

6-1-b あの男はその箱を壊した。【直接影響・変化】

[a]no	otoka[a	so]no	hakoo	ojai-too.
ano	otokaa	sono	hako=o	ojai-too
あの	男.TOP	その	箱=ACC	壊す-PST
あの男はその箱を壊した。[I]				

¹ 奈良田方言では /t, d/ がそれぞれ [t ~ t̚], [d ~ d̚], /tu/ が [tu ~ tu ~ tsu], /du/ が [du ~ du ~ dzu] と実現し, /du/ と /zu/ [õu ~ dzu ~ zu] の対立があるなど, 日本語共通語とは異なる音韻・音声特徴を有する。詳しくは小西ほか (2022) の 2 節を参照。

6-1-c あの男はそのスープを温めた。【直接影響・変化】

[a]no otoka[a so]no si[ru]u nuku[me]ta.
 ano otokaa sono siruu nukume-ta
 あの 男.TOP その 汁.ACC 温める-PST
 あの男はその汁を温めた。[H]

6-1-d あの男はそのハエを殺したが、死ななかった。【直接影響・変化】

*[a]no otoka[a so]no haio [ko]roito[o]doonja [si]nanan[do]ojo.
 *ano otokaa sono hai=o koroi-too=doo=ŋa sina-nandoo=jo
 *あの 男.TOP その ハエ=ACC 殺す-PST=COP.NPST=ADVS 死ぬ-NEG.PST=SFP
 *あの男はそのハエを殺したのだが、死ななかったよ。[M]

6-2-a, b のような対象が無変化の場合でも対格 =o が使われる。6-2-c, d では共格 =to と与格 =ni いずれも可能で、意志の有無による差異はない。

6-2-a あの男はそのボールをけた。【直接影響・無変化】

[a]no otoka[a so]no booruu [ketoba]itoo[jo].
 ano otokaa sono booruu ke+tobai-too=jo
 あの 男.TOP その ボール.ACC ける+飛ばす-PST=SFP
 あの男はそのボールをけつとばしたよ。[M]

6-2-b あの女はあの男の足をけた。【直接影響・無変化】

[a]no onna[wa a]no otokono asio ke[toba]ita.
 ano onna=wa ano otoko=no asi=o ke+tobai-ta
 あの 女=TOP あの 男=GEN 足=ACC ける+飛ばす-PST
 あの女はあの男の足をけとばした。[I]

6-2-c あの男はその人に(故意に)ぶつかった。【直接影響・無変化】

[a]no otoka[a] sono hito[to] buQtu[ka]Qtoo[jo].
 ano otokaa sono hito=to butukaQ-too=jo
 あの 男.TOP その 人=COM ぶつかる-PST=SFP
 あの男はその人と(わざと)ぶつかったよ。[M]

[a]no otoka[a so]no hito[ni] wa[za]to butu[kaQ]tooni.
 ano otokaa sono hito=ni wazato butukaQ-too=ni
 あの 男.TOP その 人=DAT わざと ぶつかる-PST=SFP
 あの男はその人にわざとぶつかったよ。[H]

6-2-d あの男はその人と（うっかり）ぶつかった。【直接影響・無変化】

[a]no	otoka[a	so]no	{hito[to] / hito[ni]}	uQka[ri]	butu[kaQ]tooni.
ano	otokaa	sono	{hito=to / hito=ni}	uQkari	butukaQ-too=ni
あの	男.TOP	その	{人=COM/人=DAT}	うっかり	ぶつかる-PST=SFP

あの男はその {人と／人に} うっかりぶつかったよ。[H]

知覚 2A では対象に主格 =ŋa が用いられ (6-3-a, c), 知覚 2B では対象に対格 =o が用いられる (6-3-b, d). 6-3-c の kikaasar- は *kik-a(a)sar- (聞く-自発接辞) に由来すると推測されるが, この自発接辞には生産性がなく, 他の例はウカサル ukasar- (< *uk-asar- 「受かる」) しか得られていない (小西ほか 2022: 120).

6-3-a あそこに人が数人見える。【知覚 2A】

[a]sokoni	hitonja	i[ku]ninmo	mee[ru][[jo.
asoko=ni	hito=ŋa	iku-nin=mo	mee-ru=jo
あそこ=DAT	人=NOM	幾つ-CLF=ADD	見える-NPST=SFP

あそこに人が何人も見えるよ。[I]

6-3-b 私はその家を見た。【知覚 2B】

[o]rjaa	[so]no	jee[o]	mito[o]ni.
orjaa	sono	jee=o	mi-too=ni
1.TOP	その	家=ACC	見る-PST=SFP

私はその家を見たよ。[H]

6-3-c 誰かが叫んだのが聞こえた。【知覚 2A】

da[re]ka	[jo]baaruŋa	[ki]kaasaQta.
dare=ka	jobaar-u=ŋa	kikaasaQ-ta
誰=Q	叫ぶ-NPST=NOM	聞こえる-PST

誰か叫ぶのが聞こえた。[H]

6-3-d あの男はその音を聞いた。【知覚 2B】

[a]no	otoka[a	so]no	oto[o]	kiito[o].
ano	otokaa	sono	oto=o	kii-too
あの	男.TOP	その	音=ACC	聞く-PST

あの男はその音を聞いた。[I]

発見・獲得・生産の対象の場合も対格 =o で表される (6-4-a, b). 追究の対象も同様 (6-5-a, b). なお, 動詞 meQke- は, 「見つける」にあたる, 「発見」を含意する意 (6-4-a) と, 「探す」にあたる, 「発見」を含意しない意 (6-4-c) の両方を持つ².

² 次のように, meQke- の別義どうしを同一節内に共起させることはできない。

{sajai-tee-ta / *meQke-tee-ta} saihuu joiQsa meQke-too. 「探していた財布をやっと見つけた」[M]

6-4-a あの男は（なくした）鍵を見つけた。【発見・獲得・生産】

[a]no otoka[a] naku[i]too [ka]ŋjo[o meQ[ke]too.
 ano otokaa nakui-too kanjoo meQke-too
 あの 男.TOP なくす-PST 鍵.ACC 見つける-PST
 あの男はなくした鍵を見つけた。[M]

6-4-b あの男はイスを作った。【発見・獲得・生産】

[a]no otoka[a i]suu tukuQ[to]o.
 ano otokaa isuu tukuQ-too
 あの 男.TOP イス.ACC 作る-PST
 あの男はイスを作った。[I]

6-5-a あの男はバスを待っている。【追及】

[a]no otoka[a] ba[su]u maci[te] irude.
 Ano otokaa basuu maci-te i-ru=de
 あの 男.TOP バス.ACC 待つ-SEQ CONT-NPST=SFP
 あの男はバスを待っているよ。[H]

6-5-b 私はあの男が来るのを待っていた。【追及】

[o]rjaa [a]no otoko[ŋa] ku[ru]u maci[te]etoo.
 orjaa ano otoko=ŋa ku-ruu maci-tee-too³
 1.TOP あの 男=NOM 来る-NPST.ACC 待つ-CONT-NPST
 私はあの男が来るのを待っていた。[M]

6-5-c あの男はサイフを探している。【追及】

[a]no otoka[a] sa]ihuu meQ[ke]te iru.
 ano otokaa saihuu meQke-te i-ru
 あの 男.TOP サイフ.ACC 探す-SEQ CONT-NPST
 あの男はサイフを探している。[I]

「知る」と「分かる」は区別があり，前者は対象が対格 =o で表され，後者は対象が主格 =ŋa で表される。人が対象の場合も同様である（6-6-a, b, c）。

6-6-a あの男はいろんなことをよく知っている。【知識 1】

[a]no otoka[a i]roirono koto[o] siQtee[ru]jo.
 ano otokaa iroiro=no koto=o siQ-tee-ru=jo
 あの 男.TOP いろいろ=GEN こと=ACC 知る-CONT-NPST=SFP
 あの男はいろいろなことを知っているよ。[M]

³ t 語幹動詞の -te 形は，mot-「持つ」の場合 moQ-te「持って」となるなど，いわゆる促音便の形をとるが，mat-「待つ」は maci-te「待って」という不規則な形をとる。

6-6-b 私はあの人を知っている。【知識 1】

[o]rjaa [a]no hito[o] siQte[ru][jo].
orjaa ano hito=o siQ-te-ru=jo
1.TOP あの 人=ACC 知る-CONT-NPST=SPF
私はあの人を知っているよ。[I]

6-6-c あの男はロシア語が分かる。【知識 1】

[a]no otoka[a ro]sianɔŋa {[ha]nase[ru][jo / deki[ru][jo].
ano otokaa rosia+ŋo=ŋa {hanas-e-ru=jo / deki-ru=jo}
あの 男.TOP ロシア+語=NOM {話す-POT-NPST=SPF / する.POT-NPST=SPF}
あの男はロシア語が {話せるよ／できるよ}。[M]

[a]no otoka[a {ro]sianɔŋa / *ro]sianoo} [wa]ka[ru].
ano otokaa {rosia+ŋo=ŋa / *rosia+ŋo=o} waka-ru
あの 男.TOP {ロシア+語=NOM / *ロシア+語=ACC} 分かる-NPST
あの男は {ロシア語が／*ロシア語を} 分かる。[M]

6-7-a あなたはきのう私が言ったことを覚えていますか？【知識 2】

o[i]sjaa [ki]njoo [o]reŋa iQto[o] koto[o] obo[i]te iruka[jo].
oisjaa kinjoo ore=ŋa iQ-too koto=o oboi-te i-ru=ka=jo
2.TOP 昨日 1=NOM 言う-PST こと=ACC 覚える-SEQ CONT-NPST=Q=SPF
あなたはきのう私が言ったことを覚えているか？[H]

6-7-b 私はあの男の電話番号を忘れてしまった。【知識 2】

[o]rjaa [a]no otokono denwaban[ŋoo]’o u[cja]asuretoode⁴.
orjaa ano otoko=no denwa+banɔoo=o ucjaasure-too=de
1.TOP あの 男=GEN 電話+番号=ACC EMPH.忘れる-PST=SPF
私はあの男の電話番号を忘れてしまったよ。[H]

好悪の感情を表す表現は suki=da「好きだ」、kirai=da「嫌いだ」といった形容名詞+コピュラ（いわゆる形容動詞）や、nikum-「憎む」といった動詞が担う。動詞の場合は 6-8-a のように対象が対格 =o で表されるが、形容名詞の場合は 6-8-b のように対象を主格 =ŋa で表す。ただし、食べ物を対象として「愛す」「好む」とは普通言わない⁵。また、6-8-c のように形容名詞でも kirai は対象が対格 =o でも表される。一方、対義語の suki は対格を許さない (6-8-b)。

⁴ ucjaasure- は接頭辞 uci- が wasure- に付いた形に当たる。

⁵ 人を対象とする場合も ais-「愛す」は使いにくいようで、6-8-a の項目に対し、話者 M と H からは kawai-ŋar-「可愛がる」、daizi=ni su-「大事にする」を使った文が得られた。

6-8-a 母は子供たちを深く愛していた。【感情 1】

oka[a]sanwa [ko]domota[ci]o hu[ka]ku [a]isi[te]eru[jo].
 o-kaa-san=wa kodomo-taci=o huka-ku aisi-tee-ru=jo
 POL-母-HCR=TOP 子供-PL=ACC 深い-ADVLZ 愛する-CONT-NPST=SFP
 お母さんは子供たちを深く愛しているよ。[I]

6-8-b 私はバナナが好きだ。【感情 1】

ura[a] {ba[na]nɔ̃a / *bananao} suki[do]o[jo].
 uraa {banana=ɔ̃a / *banana=o} suki=doo=jo
 1.TOP {バナナ=NOM / *バナナ=ACC} 好き=COP.NPST=SFP
 私は {バナナが / *バナナを} 好きだよ。[M]

6-8-c 私はあの人が嫌いだ。【感情 1】

[o]rjaa [a]no {hito[ɔ̃a / hito[o} ki]raida.
 orjaa ano {hito=ɔ̃a / hito=o} kirai=da
 1.TOP あの {人=NOM / 人=ACC} 嫌い=COP.NPST
 私はあの {人は / 人を} 嫌いだ。[I]

[o]rjaa [a]no hito[o] niku[mu][j]o.
 orjaa ano hito=o nikum-u=jo
 1.TOP あの 人=ACC 憎む-NPST=SFP
 私はあの人を憎むよ。[M]

「欲しい」「要り用だ」といった表現は、「欲しがっている」「要る」のように動詞で表すこともできる (6-9-a, b)。「欲しがっている」は一人称主語では使えず，6-9-a のように三人称主語で使える。

6-9-a 私は靴が欲しい。【感情 2】

[o]rjaa [ku]tu[ɔ̃a] hosi[i].
 orjaa kutu=ɔ̃a hosi-i
 1.TOP 靴=NOM 欲しい-NPST
 私は靴が欲しい。[I]

[a]no otoka[a] kutu[u] ho]siɔ̃aQ[te]eru.
 ano otokaa kutuu hosi-ɔ̃aQ-tee-ru
 あの 男.TOP 靴.ACC 欲しい-VBLZ-CONT-NPST
 あの男は靴を欲しがっている。[M]

6-9-b 今，あの男にはお金が要る。【感情 2】

i[ma a]no otoko[nja]a ze[ni]ɔ̃a i]ru.
 ima ano otoko=njaa zen=ɔ̃a ir-u
 今 あの 男=DAT.TOP 金=NOM 要る-NPST
 今，あの男には金が要る。[I]

[a]no otoka[a] ze[ni]ŋa [i]rijoono jo[o]da[jo].
ano otokaa zen=ŋa iri+joo=no joo=da=jo
あの 男.TOP 金=NOM 要る+用=GEN PRSM=COP.NPST=SFP
あの男は金が要り用なようだよ. [M]

kucjuusi-ŋar- 「怒る」は対象が対格をとり、与格は容認されにくい (6-10-a) ⁶. 「怖い」にあたる感情形容詞 oQkana- は、対象が主格のほか対格をとる点で共通語の「怖い」と異なる⁷. 3 人称主語であれば動詞化した oQkana-ŋar- が用いられる (6-10-b).

6-10-a (私の) 母は (私の) 弟がうそをついたのに怒っている. 【感情 3】

oka[a]wa sja[te]eŋa u[so]o tuito[o] {koto[o] / ??kotoni} kucjuusiŋaQ[te]eru[jo].
okaa=wa sjatee=ŋa uso=o tui-too {koto=o / ??koto=ni} kucjuusi-ŋaQ-tee-ru=jo
母=TOP 弟=NOM うそ=ACC つく -PST {事=ACC / ??事=DAT} 口惜しい-VBLZ-CONT-NPST=SFP
母は弟がうそをついた {ことを／ことに} 怒っているよ (lit. 口惜しがっている). [M]

6-10-b あの男は犬が怖い. 【感情 3】

[a]no otoka[a] inu[u] [o]Qkana[i].
ano otokaa inuu oQkana-i
あの 男.TOP 犬.ACC 怖い-NPST
あの男は犬が怖い. [I]

[a]no hito[a] i]nu[ŋa] oQkana[i].
ano hito=a inu=ŋa oQkana-i
あの 人=TOP 犬=NOM 怖い-NPST
あの男は犬が怖い. [H]

[a]no otoka[a] i]nu[u] o]QkananŋaQ[te]eru[jo].
ano otokaa inuu oQkana-ŋaQ-tee-ru=jo
あの 男.TOP 犬.ACC 怖い-VBLZ-CONT-NPST=SFP
あの男は犬を怖がっているよ. [M]

類似関係や包含関係のような状態も動詞で表すことができる (6-11-a, b). 類似関係を表す ni-「似る」は与格, 包含関係を表す hukum-「含む」は対格をとる (6-11-a, b).

⁶ kucjuusi-ŋar- は、形容詞 kucjuusi- があることから、その語根に動詞化接辞 -ŋar- が付いたと分析したが、動詞としての意味は共通語の「口惜しがる」「くやしがる」よりも広く、「怒る」にあたる。

⁷ 対格の例は話者 3 名から得ているのに対し、主格の例は話者 H のみから得ている。対格が本来的で、主格は共通語形 kowa- の格体制の影響を受けたものと考えられる。

6-11-a あの男は父親に似ている。【関係 1】

[a]no	otoka[a	o]toQ[sa]nni	[ni]tee[ru.
ano	otokaa	o-toQ-san=ni	ni-tee-ru
あの	男.TOP	POL-父-HCR=DAT	似る-CONT-NPST

あの男はお父さんに似ている。[M]

6-11-b 海水は塩分を含んでいる。【関係 1】

[ka]isui[wa]	e[n]buno	hukun[de]	iru.
kaisui=wa	enbun=o	hukun-de	i-ru
海水=TOP	塩分=ACC	含む-SEQ	CONT-NPST

海水は塩分を含んでいる。[I]

名詞述語文は 6-12-b のように nar-「なる」を用いると変化を表す表現となる。

6-12-a 私の弟は医者だ。【関係 2】

ura[nja]	jeeno	{sja[te]ewa / ootoa[a]}	[i]sjadoo[jo.
ura=nja	jee=no	{sjatee=wa / ootoaa}	isja=doo=jo
1.PL=GEN	家=GEN	{弟=TOP / 弟.TOP}	医者=COP.NPST=SFP

私の (lit. 私たちの家の) 弟は医者だよ。[H]

6-12-b 私の弟は医者になった。【関係 2】

[o]reja	otoota[a	i]sjani	naQ[to]o.
ore=nja	otootaa	isja=ni	naQ-too
1=GEN	弟.TOP	医者=DAT	なる-PST

私の弟は医者になった。[I]

可能表現は 6-13-a のような「動作性名詞=主格+動詞 deki-ru」や，6-13-b のような可能動詞で表せる⁸。uma-「上手い」，heta=da「下手だ」といった形容詞や形容名詞を述語とし，行為を表す名詞節を主格で標示することで，能力を評価的に表すこともできる (6-14-a, b)。

6-13-a あの男は車の運転ができる。【能力 1】

[a]no	otoka[a	ku]rumano	[u]ntenja	deki[ru][jo.
ano	otokaa	kuruma=no	untEN=nja	deki-ru=jo
あの	男.TOP	車=GEN	運転=NOM	できる-NPST=SFP

あの男は車の運転ができるよ。[M]

⁸ 可能を表す接辞のバリエーションについては小西ほか (2022: 43-44)，阪上ほか (2024: 24) 参照。

6-13-b あの男は泳げる。【能力 1】

[a]no otoka[a] ojo[ŋe]eru[jo.
ano otokaa ojoŋ-ee-ru=jo
あの 男.TOP 泳ぐ-POT-NPST=SPF
あの男は泳げるよ。[M]

6-14-a あの男は話をするのが上手だ。【能力 2】

[a]no hita[a] ha[nasi[o su]ruŋa uma[i][j]o.
ano hitaa hanasi=o su-ru=ŋa uma-i=jo
あの 人.TOP 話=ACC する-NPST=NOM うまい-NPST=SPF
あの人は話をするのが上手いよ。[H]

6-14-b あの男は走るのが苦手だ。【能力 2】

[a]no hita[a] {hasi[ru]ŋa / [to]buŋa} hetado[o]ni.
ano hitaa {hasir-u=ŋa / tob-u=ŋa} heta=doo=ni
あの 人.TOP {走る-NPST=NOM / 走る-NPST=NOM} 下手=COP.NPST=SPF
あの人は走るのが下手だよ。[H]

移動の到着点は向格 =e, i, sa で表されるが (6-15-a) ⁹, 通り道は対格で表される (6-15-b, c).

6-15-a あの男は学校に着いた。【移動】

[a]no otoka[a] gaQkoosa tu[i]toof[jo.
ano otokaa gaQkoo=sa tui-too=jo
あの 男.TOP 学校=ALL 着く-PST=SPF
あの男は学校に着いたよ。[M]

6-15-b あの男は道を {渡った／横切った}。【移動】

[ko]no otoka[a mi]cio [jo]konjQ[ta.
kono otokaa mici=o joko+ŋjQ-ta
この 男.TOP 道=ACC 横+切る-PST
この男は道を横切った。[I]

6-15-c あの男はこの道を通った。【移動】

[a]no otoka[a ko]no micio [to]oQ[ta.
ano otokaa kono mici=o tooQ-ta
あの 男.TOP この 道=ACC 通る-PST
あの男はこの道を通った。[I]

⁹ =e, i, sa は異形態の関係にあり, =e は環境の制限なく現れるが, =i は短母音の後に現れやすく, =sa は長母音・二重母音・撥音の後に限って現れる。移動の着点を表す場合は, 与格 =ni も可能。小西ほか (2022: 21) 参照。

感覚は「腹が減る」「のどがかわく」にあたる動詞句で表されることも (6-16-a, b), sabu-「寒い」といった形容詞で表されることもある (6-17-a, b).

6-16-a あの男はお腹を空かしている。【感覚 1】

[a]no otoka[a] hara[ŋa] heQtee[ru][jo.
 ano otokaa hara=ŋa heQ-tee-ru=jo
 あの 男.TOP 腹=NOM 減る-CONT-NPST=SFP
 あの男は腹が減っているよ。[M]

[a]no otoka[a] {[ha]ra[a] / [ha]ra[o]} {sukasitee[ru] / sukasiteru}.
 ano otokaa {haraa / hara=o} {sukasi-tee-ru / sukasi-te-ru}
 あの 男.TOP {腹.ACC / 腹=ACC} {空かす-CONT-NPST / 空かす-CONT-NPST}
 あの男は腹を空かしている。[I]

6-16-b あの男はのどがかわいている。【感覚 1】

[a]no [o]toka[a] no[do]ŋa kawa[i]teeruni.
 ano otokaa nodo=ŋa kawai-tee-ru=ni
 あの 男.TOP のど=NOM かわく-CONT-NPST=SFP
 あの男はのどがかわいているよ。[H]

6-17-a 私は寒い。【感覚 2】

[o]rjaa sabu[i.
 orjaa sabu-i
 I.TOP 寒い-NPST
 私は寒い。[I]

6-17-b 今日は寒い。【感覚 2】

kjo[o]wa sabu[i.
 kjoo=wa sabu-i
 今日=TOP 寒い-NPST
 今日は寒い。[M]

社会的相互行為のうち，tetudaw-「手伝う」では 6-18-a のように対象が与格または対格をとる。

6-18-a 私はあの男を {手伝った／助けた}。【(社会的) 相互行為 1】

[o]rjaa [a]no {[o]toko[ni] / otoko[o]} te]tudaQ[ta.
 orjaa ano {otoko=ni / otoko=o} tetudaQ-ta
 I.TOP あの {男=DAT/男=ACC} 手伝う-PST
 私はあの男を手伝った。[I]

6-18-b 私はあの男がそれをはこぶのを手伝った。【(社会的) 相互行為 1】

[o]rjaa	[a]no	otoko[ŋa	so]rjoo	[ha]kobuu	[te]tudaQ[to]o.
orjaa	ano	otoko=ŋa	sorjoo	hakob-uu	tetudaQ-too
1.TOP	あの	男=NOM	それ.ACC	運ぶ-NPST.ACC	手伝う-PST

私はあの男がそれを運ぶのを手伝った。[M]

言語行動の動詞 kik-「聞く」、hanas-「話す」においては、発話内容を対格に、発話相手を与格にする (6-19-a, b).

6-19-a 私はその理由をあの男に聞いた。【(社会的) 相互行為 2 (言語行動)】

[so]no	wa[ke]o	[a]no	hito[ni]	kiito[o]doo[[jo.
sono	wake=o	ano	hito=ni	kii-too=doo=jo
その	理由=ACC	あの	人=DAT	聞く-PST=COP.NPST=SPF

その理由をあの男に聞いたんだよ。[H]

6-19-b 私はそのことをあの男に話した。【(社会的) 相互行為 2 (言語行動)】

[o]rjaa	[so]no	koto[o	a]no	otoko[ni]	ha[na]ita.
orjaa	sono	koto=o	ano	otoko=ni	hanai-ta.
1.TOP	その	こと=ACC	あの	男=DAT	話す-PST

私はそのことをあの男に話した。[I]

「会う」のような行為も対象を与格にするが、共格 =to にすることもできる (6-20-a).

6-20-a 私はあの男と会った。【再帰・相互】

[o]rjaa	[a]no	{otoko[to] / otoko[ni]}	aQ[to]o[[jo.
orjaa	ano	{otoko=to / otoko=ni}	aQ-too=jo
1.TOP	あの	{男=COM / 男=DAT}	会う-PST=SPF

私はあの男 {と／に} 会ったよ。[M]

4. (連用修飾的) 複文 (語研論集 第 20 号)

連用修飾の接続形式が発達しており、-*nanara* は同時動作を (7-1), -*te* は継起的動作 (7-2)・理由 (7-3)・付帯状況 (7-5) 等を表せる。主節とは異なる主語を持つことも可能である (7-4). -*tari* によって列挙して軽動詞 *su-ru* によって文を締めくくる表現もある (7-6).

7-1 あの男はいつも新聞を読みながらご飯を食べる。【同時動作】

[a]no	[o]toka[a	i[tu]mo	[si]nbuno	[jo]mina[ŋa]ra	[me]sjo[o]	ku[u.
ano	otokaa	itumo	sinbun=o	jomi-nanara	mesjoo	ku-u.
あの	男.TOP	いつも	新聞=ACC	読む-SIM	飯.ACC	食べる-NPST

あの男はいつも新聞を読みながらご飯を食べる。[I]

7-2 (私は)きのうは九時に家に帰って，少しテレビを見て(から)，ねました。

【継起的動作・物語的連鎖】

[o]rjaa [ki]njoo[wa] ku[zi]ni jee[sa] kaiQ[te] inmee te[re]bio mi[te] netoo[ni.
orjaa kinjoo=wa kuzi=ni jee=sa kaiQ-te inmee terebi=o mi-te ne-too=ni
1.TOP きのう=TOP 九時=DAT 家=ALL 帰る-SEQ 少し テレビ=ACC 見る-SEQ 寝る-PST=SFP
私はきのうは九時に家に帰って，少しテレビを見て，寝たよ。[H]

7-3 (私は)きのう階段でころんで，ケガをしてしまった。【継起・理由】

[o]rjaa [ki]njoo [ka]idande [ko]ronde [ke]ŋa[o] site si]maQta.
orjaa kinjoo kaidan=de koron-de keŋa=o si-te simaQ-ta
1.TOP きのう 階段=INS ころぶ-SEQ ケガ=ACC する-SET PFV-PST
私はきのう階段でころんで，ケガをしてしまった。[I]

7-4 今日父は会社に行って，兄は大学に行った。【異主語】

kjo[o]mo oto[o]wa [ka]isjai [i]Qte ani[i]wa [da]iŋakui iQto[o]jo.
kjoo=mo o-too=wa kaisja=i i-Qte anii=wa daiŋaku=i iQ-too=jo
今日=ADD POL-父=TOP 会社=ALL 行く-SEQ 兄=TOP 大学=ALL 行く-PST=SFP
今日もお父さんは会社へ行って，お兄さんは大学へ行ったよ。[M]

7-5 (あの人は)今日はボウシをかぶって歩いていた。【付帯状況】

kjo[o]wa bo[o]sjoo kabuQ[te] a[ri]Qte itoo[jo.
kjoo=wa boosjoo kabuQ-te ariQ-te i-too=jo
今日=TOP 帽子.ACC かぶる-SEQ 歩く-SEQ CONT-PST=SFP
今日は帽子をかぶって歩いていたよ。[H]

7-6 (私は)休みの日にはいつも本を読んだり，テレビを見たりしています。【並行動作】

[o]rjaa [ja]sumino hi[ni]wa i[tu]mo ho[n]o jon[da]ri
orjaa jasumi=no hi=ni=wa itumo hon=o jon-dari
1.TOP 休み=GEN 日=DAT=TOP いつも 本=ACC 読む-MUL

te[re]bio mi[ta]ri site i[ru].
terebi=o mi-tari si-te i-ru
テレビ=ACC 見る-MUL する-SEQ CONT-NPST
私は休みの日にはいつも本を読んだり，テレビを見たりしている。[I]

理由節は =de や =doode で表され，「から」に当たる形式と「ので」に当たる形式の区別はない(7-7, 7-8)。=doode は，コピュラ =doo と理由の接続助詞 =de の連接形式に由来すると思われる。

7-7 時間がないから、急いで行こう。【理由・カラ】

[zi]kanɲa	na[i]de	iso[i]de	ikazaa.
zikan=ɲa	na-i=de	isoi-de	ika-zaa
時間=NOM	ない-NPST=CSL	急ぐ-SEQ	行く-HOR

時間がないから、急いで行こう。[M]

[zi]kanɲa	na[i]doo[de]	iso[i]de	[i]kazaa.
zikan=ɲa	na-i=doo-de	isoi-de	ika-zaa
時間=NOM	ない-NPST=CSL	急ぐ-SEQ	行く-HOR

時間がないので、急いで行こう。[I]

7-8 きのは頭が痛かったので、いつもより早く寝ました。【理由・ノデ】

[ki]njoo[wa	a]tama[ɲa]	i[ta]kaQtoode	i[tu]mojori	ha[ja]ku	neto[o][][]jo.
kinjoo=wa	atama=ɲa	ita-kaQtoo=de	itumo=jori	haja-ku	ne-too=jo
昨日=TOP	頭=NOM	痛い-PST=CSL	いつも=CMP	早い-ADVLZ	寝る-PST=SFP

きのは頭が痛かったので、いつもより早く寝たよ。[M]

[ki]njoo[wa	[a]tama[ɲa]	i[ta]kaQtoodoo[de]	i[tu]mojori	ha[ja]ku	neta.
kinjoo=wa	atama=ɲa	ita-kaQtoo=doo-de	itumo=jori	haja-ku	ne-ta
きのは=TOP	頭=NOM	痛い-PST=CSL	いつも=CMP	早い-ADVLZ	寝る-PST

きのは頭が痛かったので、いつもより早く寝た。[I]

移動の目的は「動詞 =ni」で表され (7-9), 目的節一般は =joo=ni で表される (7-10).

7-9 あの人は本を買いに行った。【趣向／移動の目的】

[a]no	hito[a]	ho[N]o	kaini	iQto[o]doojo.
ano	hito=a	hon=o	kai=ni	iQ-too=doo=jo
あの	人=TOP	本=ACC	買う=DAT	行く-PST=COP.NPST=SFP

あの人は本を買いに行ったんだよ。[H]

7-10 (あの男は) 外がよく見えるように窓を開けた。【目的・意図】

[a]no	otoka[a]	so[to]ɲa	jo[ku	me]e[ru]joooni	ma[do]o	[a]keto[o][][]jo.
ano	otokaa	soto=ɲa	jo-ku	mee-ru=joo=ni	mado=o	ake-too=jo
あの	男.TOP	外=NOM	よい-ADVLZ	見える-NPST=様=COP.ADVLZ	窓=ACC	開ける-PST=SFP

あの男は外がよく見えるように窓を開けたよ。[M]

仮定条件では、広く -(r)eba が使われる (7-14). 恒常的条件 (7-11) や確定条件 (7-12, 13) でも -(r)eba が使われ、共通語の -(r)eba よりも用法が広い。仮定条件では -(r)eba のほかに -ruto や -tara が使われることもある (7-11, 18 など). 7-12, 13 にあるように確定条件では -taiba が使われることもあるが、仮定条件では使えない。-taiba は確定条件専用の形式と言える。

7-11 ここでは夏になると，よく雨がふります。【恒常的条件】

[ko]kozja[a]	[na]tu[ni]	naru[to]	jo[ku]	a[me]ŋa	hu[ru.
koko=zjaa	natu=ni	nar-uto	joku	ame=ŋa	hur-u
ここ=INS.TOP	夏=DAT	なる-COND	よく	雨=NOM	降る-NPST

ここでは夏になると，よく雨が降る。[I]

[ko]kozja[a	na]tu[ni]	{nare[ba] / na[re]ba}	jo[ku]	a[me]ŋa	hu[ru]doo[jo.
koko=zjaa	natu=ni	nar-eba	joku	ame=ŋa	hur-u=doo=jo
ここ=INS.TOP	夏=DAT	なる-COND	よく	雨=NOM	降る-NPST=COP.NPST=SFP

ここでは夏になると，よく雨が降るんだよ。[H]

7-12 まどを開けると，冷たい風が入って来た。【確定条件・生起】

ma[do]o	{[a]kere[ba] / [a]keta[i]ba}	[tu]betai	kazeŋa	ha[i]Qte	ki[to]o[jo.
mado=o	{ake-reba / ake-taiba}	tubeta-i	kaze=ŋa	haiQ-te	ki-too=jo
窓=ACC	{開ける-COND / 開ける-COND}	冷たい-NPST	風=NOM	入る-SEQ	来る-PST=SFP

窓を開けると，冷たい風が入って来たよ。[M]

7-13 坂をのぼると，海が見えた。【確定条件・発見】

[sa]ka[a]	[no]boQta[i]ba	u[mi]ŋa	me[e]te	kita.
sakaa	noboQ-taiba	umi=ŋa	mee-te	ki-ta
坂.ACC	のぼる-COND	海=NOM	見える-SEQ	来る-PST

坂をのぼると，海が見えてきた。[H]

7-14 明日雨がふったら，私はそこに行かない。【仮定条件】

[a]sita	a[me]ŋa	hure[ba]	[o]rjaa	[so]koi[wa]	ikanu[jo.
asita	ame=ŋa	hur-eba	orjaa	soko=i=wa	ika-nu=jo
明日	雨=NOM	降る-COND	1.TOP	そこ=ALL=TOP	行く-NEG.NPST=SFP

明日雨が降ったら，私はそこには行かないよ。[H]

反実仮想や一般的真理でも -(r)eba が使われる (7-15, 16, 17)。7-16 にあるように，前件の条件が否定の場合は -naiba または -na-kereba となる。

7-15 もっと早くおきればよかったなあ。【反実仮想】

maQ[to]	ha[ja]ku	oki[re]ba	{jo[ka]Qta[naa / jo[ka]Qtooni}.
maQto	haja-ku	oki-reba	{jo-kaQta=naa / jo-kaQtoo=ni}
もっと	早い-ADVLZ	起きる-COND	{よい-PST=SFP / よい-PST=SFP}

もっと早く起きれば {よかったなあ / よかったよ}。[I]

7-16 あんなところへ行かなければよかった。【反実仮想・前件否定】

[a]ŋaa[N] toko[i] i]kanai[ba jo]kaQ[tooni.
aŋaaN toko=i ika-naiba jokaQ-too=ni
あんな ところ=ALL 行く-NEG.COND 良い-PST=SGP
あんなところへ行かなければよかったよ。[H]

[a]ŋaano[o to]ko[i] [i]kanake[re]ba jokaQto[o]ni.
aŋaa=noo toko=i ika-na-kereba jokaQ-too=ni
あのよう=GEN ところ=ALL 行く-NEG-COND よい-PST=SGP
あんなところへ行かなければよかったよ。[I]

7-17 1に1を足せば、2になる。【一般的真理】

[i]ci[i i]ci[o ta]se[ba] ni[ni] na[ru]jo.
ici=i ici=o tas-eba ni=ni nar-u=jo
一=ALL 一=ACC 足す-COND 二=DAT なる-NPST=SGP
1へ1を足せば、2になるよ。[M]

後件に働きかけのモダリティ (7-18) や願望のモダリティ (7-19) が現れる場合も -(r)eba を使える。
心配を表す場合 (7-20) も同様である。

7-18 駅に着いたら電話をしてください。【仮定条件・働きかけのモダリティ】

e[ki]i {tu[i]tara / tu[ke]ba / *tuitaiba} [de]nwaa {[ku]rjoo / [ku]rede}.
eki=i {tui-tara / tuk-eba / *tui-taiba} denwaa {kurjoo / kure-de}
駅=ALL 着く-COND 電話.ACC {与える-IMP / 与える-IMP.POL}
駅に着いたら電話を {くれ／ください}。[M]

7-19 日曜日になったら、みんなで公園に行きたいなあ。【仮定条件・願望】

[ni]cijoo[bi]ni [na]Q[ta]ra [mi]nna[de ko]oenni [i]kitai[naa.
nicipjoobi=ni naQ-tara minna=de kooen=ni iki-ta-i=naa
日曜日=DAT なる-COND 皆=INS 公園=DAT 行く-OPT-NPST=SGP
日曜日になったら、みんなで公園に行きたいなあ。[I]

[ni]cijoo[bi]ni {na[re]ba / naQ[ta]ra} [mi]nna[de ko]ojeni [i]kitai[na.
nicipjoobi=ni {nar-eba / naQ-tara} minna=de koojen=i iki-ta-i=naa
日曜日=DAT なる-COND 皆=INS 公園=ALL 行く-OPT-NPST=SGP
日曜日になったら、みんなで公園に行きたいなあ。[M]

7-20 明日雨がふったら困るなあ。【心配】

[a]sita a[me]ŋa {huQ[ta]ra / hure[ba]} {ko]ma[ru]naa / ko]ma[ru]jo}.
asita ame=ŋa {huQ-tara / hur-eba} {komar-u=naa / komar-u=jo}
明日 雨=NOM 降る-COND {困る-NPST=SGP / 困る-NPST=SGP}
明日雨が降ったら {困るなあ／困るよ}。[H]

前件と後件の時間的前後関係が逆転している条件文では 7-21 のように =zjaa が使われる。コンピュータ中止形 =de と主題助詞 =wa の接続形に由来すると思われる。

7-21 家に来るなら，電話をしてから来てください。【時間的前後関係に即していないナラ条件文】

jee[sa]	ku[ru]zjaa	[de]nwasiteQ[ka]ra	ki[te]	{kurjoo / kurede}.
jee=sa	ku-ru=zjaa	denwa+si-te=Qkara	ki-te	{kurjoo / kure-de}
家=ALL	来る-NPST=COP.COND	電話+する-SEQ=ABL	来る-SEQ	{BEN.IMP / BEN-IMP.POL}

家へ来るなら，電話してから来て {くれ／ください}。[M]

予想を伴った条件文 (7-22) と予想を伴わない条件文 (7-23) の間で形式的な区別はないが，7-23 では「もしかしたら」に当たる形式として mosikasureba が回答されている。これが語彙化していることはこの方言での -(r)eba の用法の広さの反映と言える。

7-22 (もうすぐベルが鳴るので) 鳴ったら，教えてください。【予想を伴った条件文】

moosu[nu]	be[ru]ŋa	[na]rudoo[de]	naQta[ra]	o]soite	kurjoo.
moosunju	beru=ŋa	nar-u=doode	naQ-tara	osoi-te	kurjoo
もうすぐ	ベル=NOM	鳴る-NPST=CSL	鳴る-COND	教える-SEQ	BEN.IMP

もうすぐベルが鳴るので，鳴ったら，教えてください。[I]

7-23 (もしかしたらベルが鳴るかもしれないので) もし鳴ったら，教えてください。

【予想を伴わない条件文】

mo[si]kasureba	be[ru]ŋa	[na]ruka[mosi]renoo[de]	
mosikasureba	beru=ŋa	nar-u=kamosirenoo=de	
もしかしたら	ベル=NOM	鳴る-NPST=POS.NPST=CSL	

mo[si]	{na]Qta[ra / na]re[ba]}	o]soite	{kurjoo / kurede}.
mosi	{naQ-tara / nar-eba}	osoi-te	{kurjoo / kure-de}
もし	鳴る-COND	教える-SEQ	{BEN.IMP / BEN-IMP.POL}

もしかしたらベルが鳴るかもしれないから，もし {鳴ったら／鳴れば} 教えて {くれ／ください}。
[M]

超時的な一般論を表す場合は相関構文ではなく，7-24 のように連体節や名詞化による単文表現となる。

7-24 働かざるもの食うべからず。【相関構文】

[ha]tarakanoo	[mo]na[a]	ka[no]oŋa	jo[i.
hataraka-noo	monaa	ka-noo=ŋa	jo-i
働く-NEG.NPST	者.TOP	食べる-NEG.NPST=NOM	よい-NPST

働かない者は食べないのがいい。[M]

言いさし文は 7-25 のように生成可能だが，後に主節に当たる内容が続く方が言いやすい (7-26, 7-27)。

7-25 もう少しお金があったらなあ。【言いさし・願望】

a[to i]nmee ze[ni]ŋa a[re]ba[naa].
ato inmee zeni=ŋa ar-eba=naa
もう 少し 金=NOM ある-COND=SFP
もう少し金があればなあ。 [M]

i[ma] inmee ze[ni]ŋa aQ[ta]ra[naa].
ima inmee zeni=ŋa aQ-tara=naa
もう 少し 金=NOM ある-COND=SFP
もう少し金があったらなあ。 [I]

7-26 これも食べたら？【言いさし・提案】

[ko]remo {ke[e]} / ke[e]ba jo[i]zjaa na[i]ka}.
kore=mo {ke-e / ke-eba jo-i=zjaa na-i=ka}
これ=ADD {食べる-IMP / 食べる-COND よい-NPST=COP.ADV LZ.TOP NEG-NPST=Q}
これも {食べろ / 食べればいいじゃないか}。 [M]

7-27 (やりたいなら自分の) 好きなようにやれば？【言いさし・つき放し】

tema[i]de jaritake[re]ba suki[no] jooni siro.
temai=de jari-ta-kereba suki=no joo=ni si-ro
REFL=INS やる-OPT-COND 好き=GEN 様=COP.ADV LZ する-IMP
自分でやりたければ好きなようにしろ。 [M]

[te]ma[e]no suki[na]joo[ni] ja[re]ba jo[i].
temae=no suki=na=joo=ni jar-eba jo-i.
REFL=GEN 好き=COP.ADN=様=COP.ADV LZ やる-COND よい-NPST
自分の好きなようにやればよい。 [I]

仮定的な逆接には -temo (7-28), 既に実現した事柄についての逆接には =ŋa や =ni, =doonja, =dooni
といった形式が使われる (7-29, 7-30). =doonja, =dooni は, 理由節の =doode と同様に, コピュラと接
続助詞の接続形に由来すると思われる。

7-28 このコップはおとしてもわれない。【仮定的な逆接】

[ko]no [ko]Qpaa [o]to[i]temo [wa]renoojo.
kono koQpaa otoi-temo ware-noo=jo
この コップ.TOP 落とす-CONC 割れる-NEG.NPST=SFP
このコップは落としても割れないよ。 [H]

7-29 このリンゴは高かったのに，ちっとも甘くない。【アクチュアルな逆接】

[ko]no	rinŋa[a]	{ta[ka]kaQtoona / ta[ka]kaQtooni}	[ze]Nze[N]	amaka[a]	na[i.
kono	rinŋaa	{taka-kaQtoo=ŋa / taka-kaQtoo=ni}	zenzen	amakaa	na-i
この	リンゴ.TOP	{高い-PST=ADVS / 高い-PST=ADVS}	全然	甘い.ADV LZ.TOP	NEG-NPST

このリンゴは {高かったけど／高かったのに}，ちっとも甘くない。[M]

[ko]no	[ri]ŋwaa	ta[ka]kaQtoodoo[ni]	hi[to]Qtumo	[a]maka[a]	na[i.
kono	rinŋwaa	takakaQ-too=dooni	hitoQtu=mo	amakaa	na-i
この	リンゴ.TOP	高い-PST=ADVS	一つ=ADD	甘い.ADV LZ.TOP	NEG-NPST

このリンゴは高かったのに，ちっとも甘くない。[I]

7-30 あの男の家に行ってみたけれども，あの男はいなかった。【逆接3】

[a]no	[hi]tono	[je]e[sa]	iQte	mi[to]odoo[ŋa]	[a]no	[o]toko[wa]	i]nando[o]ni.
ano	hito=no	jee=sa	iQ-te	mi-too=doonja	ano	otoko=wa	i-nandoo=ni
あの	人=GEN	家=ALL	行く-SEQ	みる-PST=ADVS	あの	男=TOP	いる-NEG.PST=SFP

あの人の家に行ってみたけれども，あの男はいなかったよ。[H]

時間的期限を表す「まで」と「までに」の区別は存在する。7-31，7-32 の通りである。

7-31 あの人が来るまで，私はここでまっています。【時間的期限1】

[a]no	[hi]to[ŋa]	ku[ru]made	[o]rjaa	[ko]kode	maci[te]eru[jo.
ano	hito=ŋa	ku-ru=made	orjaa	koko=de	maci-tee-ru=jo
あの	人=NOM	来る-NPST=LMT	1.TOP	ここ=INS	待つ-CONT-NPST=SFP

あの人が来るまで，私はここで待っているよ。[H]

7-32 あの人が来るまでに，食事を作っておきますよ。【時間的期限2】

[a]no	hito[ŋa]	ku[ru]madeni	[me]sjo[o	tu]kuQ[te]	oku{[jo/[ni].
ano	hito=ŋa	ku-ru=made=ni	mesjoo	tukuQ-te	ok-u={jo/ni}
あの	人=NOM	来る-NPST=LMT=DAT	飯.ACC	作る-SEQ	おく-NPST=SFP

あの人が来るまでに，食事を作っておくよ。[M]

5. 情報構造と名詞述語文 (語研論集 第21号)

焦点位置が主語の場合，焦点タイプ（対比焦点，WH 疑問など）や述語の品詞によらず主語が主格をとる（8-1，8-2，8-3）。文焦点（8-4，8-9）の場合も主語が主格をとる。奈良田方言では準体助詞が発達しておらず，動詞や形容詞の断定形に直接コピュラである =doo や =da が付いて共通語のノダに当たる構造を作る。項焦点や文焦点の文では，8-1・8-2 の応答文や 8-8，8-9 の疑問文・応答文のように，ノダに当たる形式（コピュラが後接する形）をとるが，8-1，8-2，8-4 のようにデフォルト形式が使われる場合もある。特に疑問文ではデフォルト形式のほうがふつうだが，8-8 のように「のだろう」にあたる =dura がついて共通語のノ疑問文に相当する文が作られることがある¹⁰。8-6 のように未定の事態につい

¹⁰ 奈良田方言の疑問文については小西ほか（2022: 53-54），小西（2022）参照。

てその場で判断を求める場合、項焦点であってもデフォルト形式が使われる¹¹。また、8-7のように述語句焦点の文では、既定の事態であっても主語が主題化されてデフォルトの述語形式が使われやすい。

8-1 えっ、太郎が来たの？【対比焦点（主語）】

—いや、太郎じゃなくて花子が来たんだ。（きのうの集まりに珍しく来た人についての会話で）

e[e] ta[ro]oŋa ki[to]oka.
ee taroo=ŋa ki-too=ka
INT 太郎=NOM 来る-PST=Q
えっ、太郎が来たの？

i[ija]a ta[ro]ozjaa na[ku]te ha[na]koŋa ki[to]odoo[jo.
ijjaa taroo=zjaa na-kute hanako=ŋa ki-too=doo=jo
いいや 太郎=COP.ADV LZ.TOP NEG-SEQ 花子=NOM 来る-PST=COP.NPST=SFP
いや、太郎じゃなくて花子が来たんだよ。[I]

8-2 誰が来たの？—太郎が来たよ。【WH 焦点（主語）・WH 応答焦点（主語）】

da[re]ŋa ki[to]o.
dare=ŋa ki-too
誰=NOM 来る-PST
誰が来たの？

ta[ro]oŋa {ki[to]ojo / ki[to]odoojo}.
taroo=ŋa {ki-too=jo / ki-too=doo=jo}
太郎=NOM {来る-PST=SFP / 来る-PST=COP.NPST=SFP}
太郎が {来たよ / 来たんだよ}。[H]

8-3 太郎のほうが大きいんじゃないの？

—いや、太郎じゃなくて花子のほうが大きいんだよ。【YesNo 疑問・形容詞述語応答焦点】

ta[ro]ono ho[o]ŋa ika[i]zja na[i]kajo
taroo=no hoo=ŋa ika-i=zja na-i=ka=jo
太郎=GEN ほう=NOM 大きい-NPST=COP.ADV LZ.TOP NEG-NPST=Q=SFP
太郎のほうが大きいんじゃないの？

soo[zja]a na[i][jo.
soo=zjaa na-i=jo
そう=COP.ADV LZ.TOP NEG-NPST=SFP

¹¹ これは共通語も同様である。調査票では「どっちを買うの？」となっているが「どっちを買う？」のほうが自然で、「どっちを買うの？」とすると詰問というニュアンスを帯びる。

ta[ro]ozja naku[te] ha[na]kono ho[o]ŋa ika[i]o[[jo.
 taroo=zja na-kute hanako=no hoo=ŋa ika-i=jo
 太郎=COP.ADV LZ.TOP NEG-SEQ 花子=GEN ほう=NOM 大きい-NPST=SPF
 そうじゃないよ。太郎じゃなくて花子のほうが大きいよ。[M]

8-4 (電話で) どうしたの?—うん，今，お客さんが来たんだ。【文焦点 (自動詞文)】

i[ma o]kjakusanŋa ki[to]o[[jo.
 ima o-kjaku-san=ŋa ki-too=jo
 今 POL-客-HCR=NOM 来る-PST=SPF
 今，お客さんが来たよ。[I]

8-5 あの子供が花子をたたいたんだって!?

—いや，花子じゃなくて，太郎をたたいたんだよ。【対比焦点 (目的語)】

[a]no kodomoŋa ha[na]koo tata[i]toodooQ[cje.
 ano kodomo=ŋa hanako=o tatai-too=doo=Qcje
 あの 子供=NOM 花子=ACC 叩く-PST=COP.NPST=HS
 あの子供が花子をたたいたんだって!?

i[ja] ha[na]kozja na[ku]te ta[ro]oo tata[i]tooda[jo.
 ija hanako=zja na-kute taroo=o tatai-too=da=jo
 NEG 花子=COP.ADV LZ.TOP NEG-SEQ 太郎=ACC 叩く-PST=COP.NPST=SPF
 いや，花子じゃなくて，太郎をたたいたんだよ。[I]

8-6 赤い袋と青い袋があるけど，どっちを買うの?

—(私は) 青い袋を買うよ。【対比焦点 (目的語，対比的疑問語「どっち」)】

[a]kai hukuro[to] ao[i] hukuro[ŋa] a[ru]doo[ŋa]
 aka-i hukuro=to ao-i hukuro=ŋa ar-u=doo=ŋa
 赤い-NPST 袋=COM 青い-NPST 袋=NOM ある-NPST=COP.NPST=ADVS

doQ[cjo]o [ko]o[[jo.
 doQcjo koo=jo
 どっち.ACC 買う.NPST=SPF
 赤い袋と青い袋があるんだけど，どっちを買う?

[o]rjaa ao[i] hukuroo [ko]o[[jo.
 orjaa ao-i hukuro=o koo=jo
 1.TOP 青い-NPST 袋=ACC 買う.NPST=SPF
 私は青い袋を買うよ。[H]

8-7 太郎はどこですか？—太郎は朝からどっかへでかけたよ。【述語焦点】

—(朝少しおそく起きて来た太郎の父親が、姿の见えない太郎について母親にたずねている場面で)

ta[ro]owa do[ko]ni iruka.
taroo=wa doko=ni i-ru=ka
太郎=TOP どこ=DAT いる-NPST=Q
太郎はどこにいる？

ta[ro]owa a[sa]kara do[ko]ika [de]kaketo[o][jo].
taroo=wa asa=kara doko=i=ka dekake-too=jo
太郎=TOP 朝=ABL どこ=ALL=Q 出かける-PST=SFP
太郎は朝からどこかへでかけたよ。[I]

8-8 (あの子供は) 誰をたたいたの？

—(あの子供は) 自分の弟をたたいたんだ。【WH 焦点(目的語)・WH 応答焦点(目的語)】

[a]no kodomaa da[rjo]o buQsaraQ[to]odura
ano kodomaa darjoo buQsaraQ-too=dura
あの 子供.TOP 誰.ACC たたく-PST=COP.INFER
あの子供は誰をたたいたの (lit. たたたいたんだろう) ？

[a]no kodomaa tema[i]no sja[te]eo tata[i]toodoo[jo].
ano kodomaa temai=no sjatee=o tatai-too=doo=jo
あの 子供.TOP 自分=GEN 弟=ACC たたく-PST=COP.NPST=SFP
あの子供は自分の弟をたたいたんだよ。[M]

8-9 (電話で) どうしたの？【文焦点(他動詞文)】

—うん、太郎が(自分の)弟をたたいたんだ。(電話のむこうで子供の泣き声を聞いての発話)

[do]o sitoo[do]o
doo si-too=doo
どう する-PST=COP.NPST
どうしたの？ (lit. どうしたんだ)

ta[ro]oŋa [o]tooto[o] buQsa[ra]Qtoodoo[jo].
taroo=ŋa otooto=o buQsaraQ-too=doo=jo
太郎=NOM 弟=ACC たたく-PST=COP.NPST=SFP
太郎が弟をたたいたんだよ。[M]

目的語が主題の場合は 8-10 のように =wa (話者 H の文では前接名詞と融合) によって主題化され、文頭に現れる。対格 =o に =wa が続く構造も可能である。また、8-10 の話者 H の疑問文は =wa を伴わない対格句が使われており形態的には非主題文と言えるが、共通語では「あのケーキをどうした？」は容認しにくい。奈良田方言では無助詞の主題句も無助詞の目的語も用いにくく(小西ほか 2022: 18, 35), そのことが、共通語の無助詞主題文に対応してこのような非主題対格文が使われることと関わると思われる。

8-10 あのケーキ，どうした？

— (ああ，あれは) 太郎が食べちゃったよ. 【目的語主題化，主題（目的語）の継続性】

[a]no {ke[e]kiowa / ke[e]kiwa} [do]o sito[o]
 ano {keeki=o=wa / keeki=wa} doo si-too
 あの {ケーキ=ACC=TOP / ケーキ=TOP} どう する-PST
 あのケーキは，どうした？

[a]re[o]wa ta[ro]nja kuQ[cja]Qtoo[jo].
 are=o=wa taroo=ŋa kuQ-cjaQ-too=jo
 あれ=ACC=TOP 太郎=NOM 食う-PFV-PST=SFP
 あれは太郎が食べちゃったよ. [M]

[a]no ke[e]kjoo [do]o sitoo
 ano keekjoo doo si-too
 あの ケーキ.ACC どう する-PST
 あのケーキ (lit. あのケーキを)，どうした？

a[rja]a ta[ro]nja kuQ[ta]jo.
 arjaa taroo=ŋa kuQ-ta=jo
 あれ.TOP 太郎=NOM 食う-PST=SFP
 あれは太郎が食べちゃったよ. [H]

分裂文に関しては，名詞化した節を主題にして項焦点を述語化する．名詞節は準体助詞を用いずに，動詞に助詞を直接後接することで作られる．

8-11 私がきのうお店から買ってきたのはこの本だ. 【分裂文】

[o]reŋa [ki]njoo mise[ka]ra kaQte ki[to]owa [ko]no {ho[N]da[jo] / ho[N]doo[jo].
 ore=ŋa kinjoo mise=kara kaQ-te ki-too=wa kono {hon=da=jo / hon=doo=jo}
 私=NOM 昨日 店=ABL 買う-SEQ 来る-PST=TOP この 本=COP.NPST=SFP
 私がきのう店から買ってきたのはこの本だよ. [M]

措定文 (8-12) と倒置同定文 (8-13) および同定文 (8-14) では同じコピュラ =doo (もしくは =da) が使われる．同定文 (8-14) では主語が主格 =ŋa をとる．8-12 にあるように主題主語は次の文に継続可能で，現れなくてもよい．

8-12 あの人は先生だ. この学校でもう 20 年働いている. 【措定文 主題（主語）の継続性】

[a]no [hi]ta[a] [se]Nse[e]doo[jo].
 ano hitaa sensee=doo=jo
 あの 人.TOP 先生=COP.NPST=SFP

[ko]no gaQkoode ha[i] nizju[u]nenmo [ha]taraite[ru]dooode.
kono gaQkoo=de hai nizjuu-nen=mo hatarai-te-ru=doo=de
この 学校=INS もう 20-年=ADD 働く -CONT-NPST=COP.NPST=SFP
あの人は先生だよ。この学校でもう 20 年働いているんだよ。[H]

8-13 花子のお父さんは、あの人だ。【倒置同定文】

ha[na]koŋa [o]toQ[sa]nwa [a]no hito[do]o[jo].
hanako=ŋa o-toQ-san=wa ano hito=doo=jo
花子=GEN POL-父-HCR=TOP あの 人=COP.NPST=SFP
花子のお父さんは、あの人だよ。[M]

8-14 あの人が花子のお父さんだ。【同定文】

[a]no hito[ŋa] ha[na]koŋa otoQ[sa]ndoo[jo].
ano hito=ŋa hanako=ŋa o-toQ-san=doo=jo
あの 人=NOM 花子=GEN POL-父-HCR=COP.NPST=SFP
あの人が花子のお父さんだよ。[M]

定義文では 8-15 のように述語が「～のことだ」に当たる形式をとる。単純なコピュラ文をそのまま用いることもできるが、「(～のことを) 言う」という動詞を使うこともできる。定義文の主題は「～っていうのは」に当たる引用形式によって提示されることがある。

8-15 あさってっていうのはね、明日の次の日のことだよ。【定義文】

asaQ[te]Qcjuuwa [a]sitano tuŋi[no] [hi]no [ko]to[do]ojo.
asaQte=Qcju-u=wa asita=no tuŋi=no hi=no koto=doo=jo
明後日=QUOT.言う-NPST=TOP 明日=GEN 次=GEN 日=GEN 事=COP.NPST=SFP
あさってっていうのは、明日の次の日のことだよ。[H]

[a]saQ[te]wa [a]sitano [ma]ta tuŋi[no] hidoojo.
asaQte=wa asita=no mata tuŋi=no hi=doo=jo
明後日=TOP 明日=GEN また 次=GEN 日=COP.NPST=SFP
あさっては、明日のまた次の日だよ。[M]

[a]saQ[te]cite juuwa [a]sitano tuŋi[no] hino kotoo juu[do]o[jo].
asaQte=cite ju-u=wa asita=no tuŋi=no hi=no koto=o ju-u=doo=jo
明後日=QUOT 言う-NPST=TOP 明日=GEN 次=GEN 日=GEN こと=ACC 言う-NPST=COP.NPST=SFP
あさってっていうのは、明日の次の日のことを言うんだよ。[M]

名詞述語文においてはウナギ文 (8-16) や逆行ウナギ文 (8-17) も成立可能で、コピュラ =doo, =da が使われる。

8-16 (何人かで入ったカフェで注文を聞かれて) 私はコーヒーだ。【ウナギ文】

[o]rjaa [ko]ohi[i]doojo.
orjaa koohii=doo=jo
1.TOP コーヒー=COP.NPST=SFP
私はコーヒーだよ。[H]

8-17 [(注文した数人分のお茶が運ばれてきて) どなたがコーヒーですか?との問いに]

コーヒーは私だ。【逆行ウナギ文】
[ko]ohi[i]wa [o]redajo.
koohii=wa ore=da=jo
コーヒー=TOP 1=COP.NPST=SFP
コーヒーは私だよ。[M]

2つの形容詞が1つの同じ名詞を修飾する場合は，連用形を用いて修飾句を形成して全体で連体修飾を行うもの(一括修飾型)とそのような要素を介さないもの(累積修飾型)のどちらも可能である(8-18)。

8-18 その新しくて厚い本は(値段が)高い。【形容詞述語文 修飾・並列・述語】

{[ni]isii / [ni]isiku[te]} [a]tui ho[n]wa {[ne]dan̄a / ze[ni]̄a} taka[i]̄[j]o.
{niisii-i / niisiku-te} atu-i hon=wa {nedan̄=̄a / zen̄i=̄a} taka-i=jo.
{新しい-NPST / 新しい-SEQ} 厚-NPST 本=TOP {値段=NOM / お金=NOM} 高い̄-NPST=SFP
その {新しい／新しくて} 厚い本は値段が高いよ。[H]

意外性を表す 8-19 の文で過去形は使われないが，思い出しを表す 8-20 の文では過去形が使われる。

8-19 (砂糖入れを開けて) あっ，砂糖が無くなっているよ！【意外性 (mirativity)】

a [sa]toon̄a na[ku]naQteeru {jo / ni}.
a satoo=̄a nakunaQ-tee-ru={jo / ni}
INT 砂糖=NOM 無くなる-CONT-NPST=SFP
あっ，砂糖が無くなっているよ。[M]

8-20 午後，誰かに会うはずだったなあ。誰だったっけ？あっ，そうだ，太郎君だったな。【思い出し】

go[ŋo] da[re]kani o[o]hazudaQ[to]on̄a[na]. da[re]daQtu[ra].
goŋo dare=ka=ni oo=hazu=daQ-too=̄a=na dare=daQ-tura
午後 誰=Q=DAT 会う.NPST=INFER=COP-PST=ADVS=SFP 誰=COP-PST.INFER

o[o] soo[da] ta[ro]okundaQtoo[na].
oo soo=da taroo-kun=daQ-too=na
INT そう=COP.NPST 太郎-HCR=COP-PST=SFP

午後，誰かに会うはずだったがああ。誰だっただろう。あっ，そうだ，太郎君だったな。[M]

6. 情報標示の諸要素 (語研論集 第22号)

5節でも見たように、奈良田方言では、非主題主語は =ŋa, 主題は =wa で標示される。主題主語においては =wa のみが使われ、=ŋa と =wa が接続することはないが、主題目的語では対格 =o と主題 =wa の接続も、=wa だけで標示することも可能である(5節8-10)。与格や具格などの斜格名詞句も =ni=wa, =de=wa などと主題化される(3節6-9-b, 4節7-11)。また、これも5節で見たように、主題は文頭に現れ、文をまたいで継続可能である。9-1, 9-2 のように二重主語文も生成可能で、主題(大主語)が統語的軸項として機能する。

9-1 この土地は野菜がよく育つ。だから高い値段で売れるだろう。

【主題卓越型類型論の軸項：統語的に動詞の必須項ではない名詞】

[ko]no	to[cja]a	[ja]saiŋa	i[ka]ku	naru[ni.
kono	toçjaa	jasai=ŋa	ika-ku	nar-u=ni
この	土地.TOP	野菜=NOM	大きい-ADVLZ	なる-NPST=SFP

so]rede	taka[i	ne]dande	[u]rerudoojo.
sorede	taka-i	nedan=de	ure-ru=doo=jo
それで	高い-NPST	値段=INS	売れる-NPST=COP.NPST=SFP

この土地は野菜が大きくなるよ。それで高い値段で売れるんだよ。[M]

9-2 私は頭が痛い。だから今日は休む。

【主題卓越型類型論の軸項：話し手のなわ張り内・聞き手のなわ張り外】

[o]rjaa	[a]tama[ŋa]	ita[i.
orjaa	atama=ŋa	ita-i
1.TOP	頭=NOM	痛い-NPST

soo[do]ode	kjo[o]wa	[ja]sumasi[te]	uke[ru.
soo=doo=de	kjoo=wa	jasum-asi-te	uke-ru
そう=COP.NPST=CSL	今日=TOP	休む-CAUS-SEQ	BEN-NPST

私は頭が痛い。だから (lit. そうだから) 今日は休ませてもらう。[H]

限定のとりたて表現である「だけ」「しか」に当たる形式が区別され、前者は =dake, =Qkiri, 後者は =sikkaa である(9-3, 9-4)¹²。一方で、9-5 のように、「ばかり」に当たる形式としては「だけ」に当たる形式と同じ =dake, =Qkiri が使われる。限定・強調の「こそ」に明示的に対応する形式も使われる(9-6)。反限定・例示には =denma が用いられる(9-7)。

9-3 あの人だけ、時間通りに来た。【とりたて：限定】

[a]no	hito[da]ke	[zi]kando[o]rini	{kita / kito[oni].
ano	hito=dake	zikan+doori=ni	{ki-ta / ki-too=ni}
あの	人=RST	時間+通り=DAT	{来る-PST / 来る-PST=SFP}

あの人だけ、時間通りに {来た／来たよ}。[H]

¹² 「しか」に当たる助詞は =sikkaa という長音形である。=siki=wa に由来するのではないと思われる。

[a]no hitoQ[ki]ri [zi]kando[o]rini ki[to]o[jo].
 ano hito=Qkiri zikan+doori=ni ki-too=jo
 あの 人=RST 時間+通り=DAT 来る-PST=SFP
 あの人数，時間通りに来たよ。[M]

9-4 これはここでしか買えない。【とりたて：限定・否定との共起】

[ko]rjaa [ko]kodesi[ka]a [ka]enoo[jo].
 korjaa koko=de=sikaa ka-e-noo=jo
 これ.TOP ここ=INS=RST 買う-POT-NEG.NPST=SFP
 これはここでしか買えないよ。[H]

9-5 その家にいたのは子供ばかりだった。【とりたて：限定・多数】

[so]no jee[ni] itoo[wa] {[ko]domodake[da]Qtoo[jo] / [ko]domoQkiri[da]Qtoo[jo].
 sono jee=ni i-too=wa {kodomo=dake=daQ-too=jo / kodomo=Qkiri=daQ-too=jo}
 その 家=DAT 居る-PST=TOP {子供=RST=COP-PST=SFP / 子供=RST=COP-PST=SFP}
 その家にいたのは子供だけだったよ。[H]

9-6 次回こそ，失敗ないようにしよう。【とりたて：限定・強調】

[tu]ŋi[ko]so [si]kuzira[no]ojooni [si]zaa.
 tuŋi=koso sikuzira-noo=joo=ni si-zaa
 次=FOC しくじる-NEG.NPST=様=COP.ADV LZ する-HOR
 次こそ，しくじらないようにしよう。[M]

9-7 疲れたね，お茶でも飲もう。【とりたて：反限定・例示】

tuka[re]toode [o]cjaa[den]ma no[ma]zaa.
 tukare-too=de o-cja=denma noma-zaa
 疲れる-PST=CSL POL-茶=EXPL 飲む-HOR
 疲れたからお茶でも飲もう。[M]

極端を表すとりたて表現には =sai，極端・意外を表すとりたて表現には格助詞としても用いられる =made を用いる。

9-8 水さえあれば，数日間は大丈夫だ。【とりたて：極端】

[mi]zusa[i] a[re]ba i[ku]ncimo daizjo[o]budajo.
 mizu=sai ar-eba iku-nci=mo daizjoobu=da=jo
 水=EXT ある-COND 幾-CLF=ADD 大丈夫=COP.NPST=SFP
 水さえあれば，何日も大丈夫だよ。[M]

9-9 小さい子供まで、その仕事の手伝いをさせられた。【とりたて：極端・意外】

[nu]koi [ko]domoma[de] sono sinotono [te]tudai[o] sa]serareto[o]doode.
nuko-i kodomo=made sono sinoto=no tetudai=o sase-rare-too=doo=de.
小さい-NPST 子供=LMT その 仕事=GEN 手伝い=ACC させる-PASS-PST=COP.NPST=SFP
小さい子供まで、その仕事の手伝いをさせられたんだよ。[H]

反極端・低評価の表現には =maari が使われる。これには主題の =wa や対格の =o が付くことがある (9-10)。反極端・最低限の表現には =kurai が用いられる (9-11)。

9-10 私はお金なんか欲しくない。【とりたて：反極端・低評価】

[o]rjaa ze[ni]maarjaa ho[sika]a na[i].
orjaa zeni=maarjaa hosikaa na-i
1.TOP 金=EXPL.TOP ほしい.ADVZ.TOP NEG-NPST
私は金なんか欲しくはない。[M]

[o]rjaa [ka]nemaarjo[o] ho[sika]a nai[doo]ni.
orjaa kane=maarjoo hosi-kaa na-i=doo=ni
1.TOP お金=EXPL.ACC 欲しい-ADVZ.TOP NEG-NPST=COP.NPST=SFP
私はお金なんか欲しくないんだよ。[H]

9-11 自分の部屋ぐらい、自分できれいにしなさい。【とりたて：反極端・最低限】

[te]maino he]jaku[ra]i tema[i]de ki[re]eni siro.
temai=no heja=kurai temai=de kiree=ni si-ro
REFL=GEN 部屋=EXPL REFL=INS きれい=COP.ADVZ する-IMP
自分の部屋ぐらい、自分できれいにしろ。[M]

類似・累加は 9-12 にあるように =mo によって表される。反類似・対比は 9-13 にあるように =wa で表される。省略疑問文にもなる。

9-12 私にもちょうだい。【とりたて：類似・累加】

[o]reni[mo] {kurjoo / kurede}.
ore=ni=mo {kurjoo / kure-de}
1=DAT=ADD {与える.IMP/ 与える-IMP.POL}
私にも {くれ／ください}。[M]

9-13 お父さんもう帰って来たね。お母さんは？【とりたて：反類似・対比（疑問）】

oto[o]sa[n]wa ha[i] ka[i]Qte kito[o]doonja oka[a]san[wa].
o-too-san=wa hai kaiQ-te ki-too=doonja o-kaa-san=wa
POL-父-HON=TOP もう 帰る-SEQ 来る-PST=ADVS POL-母-HON=TOP
お父さんはもう帰って来たが、お母さんは？ [H]

不定表現は疑問詞に =ka が付いて表される (9-14, 15)。疑問文や条件節内でも同様である (9-16, 9-

17).

9-14 誰か(が)電話してきたよ.【不定：特定未知】

da[re]kaŋa [de]nwaa joko[i]toojooda[jo].
dare=ka=ŋa denwaa jokoi-too=joo=da=jo
誰=Q=NOM 電話.ACC よこす-PST=PRSM=COP.NPST=SFP
誰かが電話をよこしたようだよ. [M]

9-15 誰かに聞いてみよう.【不定：非現実不特定】

da[re]kani [ki]ite mi[ru]dura[ka].
dare=ka=ni kii-te mi-ru=dura=ka
誰=Q=DAT 聞く-SEQ みる-NPST=COP.INFER=Q
誰かに聞いてみる? (lit. 聞いてみるだろうか) [H]

9-16 私のいない間に誰か来た?【不定：疑問】

[o]reŋa [i]noo {mani / o[ri]} da[re]ka ki[to]oka.
ore=ŋa i-noo {ma=ni / ori} dare=ka ki-too=ka
I=NOM いる-NEG.NSPT {間=DAT / 時} 誰=Q 来る-PAT=Q
私がいないうちに誰か来た? [H]

9-17 誰か来たら，私に教えてください.【不定：条件節内】

da[re]kaŋa ki[ta]ra [o]reni [o]soite {kurjoo / kurede}.
dare=ka=ŋa ki-tara ore=ni osoi-te {kurjoo / kure-de}
誰=Q=NOM 来る-COND I=DAT 教える-SEQ {BEN.IMP / BEN-IMP.POL}
誰かが来たら，私に教えて {くれ／ください}. [M]

全部否定では疑問詞に =denma または =mo が付く (9-18, 9-19). 間接否定では従属節に否定を使う文も主節に否定を使う文も両方可能である (9-19).

9-18 今日は誰も来るとは思わない.【不定：間接(全部)否定】

kjo[o]wa darede[n]ma ku[ru]taa [o]mowa[no]o[jo].
kjoo=wa dare=denma ku-ru=taa omowa-noo=jo
今日=TOP 誰=EXT 来る-NPST=QUOT.TOP 思う-NEG.NPST=SFP
今日は誰も来るとは思わないよ. [M]

kjo[o]wa da[re]mo ko[no]oto omo[o].
kjoo=wa dare=mo ko-noo=to omoo
今日=TOP 誰=ADD 来る-NEG=QUOT 思う.NPST
今日は誰も来ないと思う. [H]

9-19 そこには今誰もいないよ. 【不定：直接（全部）否定】

[so]konja[a] i[ma] da[re]mo {[i]noo[jo]} / {[i]noo[ni]}.
soko=njaa ima dare=mo {i-noo=jo / i-noo=ni}
そこ=DAT.TOP 今 誰=ADD いる-NEG.NPST=SFP
そこには今誰もいないよ. [M]

自由選択の表現では「みんな」に当たる形式も疑問代名詞に基づく不定代名詞も使える (9-20, 9-21).
反語でも 9-22 のように疑問詞が使われる.

9-20 (それは) 誰でもできる. 【不定：自由選択】

[so]rjaa da[re]demo deki[ra]a.
sorjaa dare=demo deki-raa
それ.TOP 誰=EXT できる-NPST.SFP¹³
それは誰でもできるよ. [M]

9-21 そんなこと (は), みんな知っているんじゃないか!? 【不定：自由選択を示す「みんな」】

[so]njaano[o] koto[o]wa [mi]nna [si]Qtee[ru]zjaa na[i]ra[ka].
sojaa=noo koto=o=wa minna siQ-tee-ru=zja na-i=ra=ka
そのよう=GEN 事=ACC=TOP 皆 知る-CONT-NPST=COP.ADV LZ NEG-NPST=INFER=Q
そんなことは, みんな知っているんじゃないだろうか. [H]

9-22 そんなもの, 誰が買うんだよ!? 誰も買うわけじゃないじゃないか! 【不定：反語】

[so]njaan mono[o] da[re]nja [ko]oda.
sojaan mono=o dare=nja koo=da
そんな 物=ACC 誰=NOM 買う.NPST=COP.NPST

da[re]mo [ko]ohazuja na[i]jo.
dare=mo koo=hazu=nja na-i=jo
誰=ADD 買う.NPST=道理=NOM NEG-NPST=SFP
そんなものを誰が買うんだ. 誰も買うはずがないよ. [H]

聞き手のなわ張りに属する情報には終助詞 =na が付き (9-23, 9-24), 話し手のなわ張りに属さない情報には伝聞や推定などの証拠性に関わる形式が付く (9-24, 9-25).

9-23 君は英語が上手いね. 【なわ張り理論：話し手のなわ張り内・聞き手のなわ張り内】

o[i]sjaa [e]enjoja uma[i]na.
oisjaa eenjo=nja uma-i=na
2.TOP 英語=NOM 上手い-NPST=SFP
あなたは英語がうまいね. [M]

¹³ dekiraa は 基底形 //deki-ru=wa// と解釈した.

9-24 君は退屈そうだね. 【なわ張り理論：話し手のなわ張り外・聞き手のなわ張り内】

o[i]sjaa [ta]ikutusoo[da[na.
oisjaa taikutu=soo=da=na
2.TOP 退屈=PRSM=COP.NPST=SPF
あなたは退屈そうだね. [M]

9-25 明日も寒いらしいよ. 【なわ張り理論：話し手のなわ張り外・聞き手のなわ張り外】

[a]sitamo sabu[i]rasii[jo.
asita=mo sabu-i=rasi-i=jō
明日=ADD 寒い-NPST=HS-NPST=SPF
明日も寒いらしいよ. [M]

7. 否定，形容詞と連体修飾複文（語研論集 第 23 号）

有生物の存在文・所在の文の否定は動詞 i-「いる」の否定形 i-noo が使われるが，無生物の存在文・所在文の否定は「有らない」に当たる動詞の否定形式ではなく，形容詞の na-i で表される. (10-2～10-5). この na-i は 10-1 のような名詞述語文の否定や 10-6, 10-7 のような形容詞文の否定でも使われる. このとき，honzjaa na-i「本ではない」，ikakaa na-i「大きくない」のように，コピュラや形容詞の副詞化形と主題助詞 =wa の縮約形 =zja(a)，-kaa が使われる¹⁴. 全部否定においてはモノの場合「一つも」に当たる形式が使われ (10-3)，ヒトの場合疑問詞 dare に =denma や =mo が付いた形式が使われる (10-4, 6 節 9-18).

10-1 これは私の本ではない. 【名詞述語文／コピュラ文の否定】

[ko]rjaa [o]reŋa ho[n]zjaa na[i]jo.
korjaa ore=ŋa hon=zjaa na-i=jō
これ.TOP 1=GEN 本=COP.ADV LZ.TOP NEG-NPST=SPF
これは私の本ではないよ. [H]

10-2 この部屋にはイスがない. 【存在文の否定】

[ko]no heja[nja]a [i]saa na[i]ka.
kono heja=njaa isaa na-i=ka
この 部屋=DAT.TOP イス.TOP ない-NPST=Q
この部屋にはイスはないか. [M]

10-3 この部屋には一つもイスがない. 【全部否定・モノ】

[ko]no heja[nja]a [hi]toQtu[mo {[i]suŋa / [se]waru tokoŋa} na[i]jo.
kono heja=njaa hitoQtu=mo {isu=ŋa / sewa-ru toko=ŋa} na-i=jō
この 部屋=DAT.TOP 一つ=ADD {椅子=NOM / 座る-NPST 所=NOM} ない-NPST=SPF
この部屋には一つも {イスが／座るところが} ないよ. [H]

¹⁴ 共通語・東京方言でも名詞述語の否定文では「今日は雨 {では／じゃ／??で} ない」のようにコピュラの中止形と主題助詞の接続形 =de=wa やその縮約形 =zja が使われるが，形容詞では「高くない」など -ku 形が一般的で「高くはない」のように主題助詞を後接すると特別な含意がある表現となる.

10-4 その部屋には誰もいない。【全部否定・ヒト】

[ko]no [he]ja[nja]a dare[de]nma [i]noo.
kono heja=njaa dare=denma i-noo
この 部屋=DAT.TOP 誰=EXT いる-NEG.NPST
この部屋には誰もいない。[M]

10-5 その本はこの部屋にない。【所在文の否定】

[so]no ho[n]wa [ko]no heja[nja]a na[i]jo.
sono hon=wa kono heja=njaa na-i=jo
その 本=TOP この 部屋=DAT.TOP ない-NEG.NPST=SFP
その本はこの部屋にはないよ。[H]

10-6 この犬は大きくない。【形容詞文の否定】

[ko]no [i]na[a] ika[ka]a na[i].
kono inaa ika-kaa na-i
この 犬.TOP 大きい-ADVLZ.TOP NEG-NPST
この犬は大きくない。[H]

10-7 この犬はあまり大きくない。【形容詞文の部分否定】

[ko]no ina[a] a[n]mari i[ka]kaa na[i].
kono inaa anmari ika-kaa na-i
この 犬.TOP あまり 大きい-ADVLZ.TOP NEG-NPST
この犬はあまり大きくはない。[M]

比較級においては，比較の基準となる名詞に比較の対象専用の要素である =jori が付く．形容詞に特別な標示はない（10-8）．最上級でも形容詞に特別な標示はない（10-9）．

10-8 この犬はあの犬より大きい。【比較級】

[ko]no ina[a] a]no inu[jo]ri ika[i]na.
kono inaa ano inu=jori ika-i=na
この 犬.TOP あの 犬=CMP 大きい-NEG.NPST=SFP
この犬はあの犬より大きいな。[M]

10-9 この犬がその犬たちの中で一番大きい。【最上級】

[ko]no ina[a] so]no inuno na[ka]zjaa ici[ba]n [i]ka[i]na.
kono inaa sono inu=no naka=zjaa iciban ika-i=na
この 犬.TOP その 犬=GEN 中=COP.ADVLZ.TOP 一番 大きい-NEG.NPST=SFP
この犬はその犬の中では一番大きいな。[M]

[ko]no [i]nu[ŋa mi]nna[no i]nuno na[ka]de ici[ba]N [i]kai[ni].
 kono inu=ŋa minna=no inu=no naka=de iciban ika-i=ni
 この 犬=NOM 皆=GEN 犬=GEN 中=INS 一番 大きい-NPST=SFP
 この犬が全ての (lit. 皆の) 犬の中で一番大きいよ. [H]

動詞文の否定では -noo が使われる (10-10). 過去の事態の否定は -nandoo になるが (10-11), 新しい形式として -na-kaQtoo が使われることもある (10-12), 他動詞の目的語は否定文でも 10-11 のように対格をとる.

10-10 今日はあの人は来ない. 【自動詞文の否定】

kjo[o]wa [a]no hita[a] ko[no]o[na].
 kjoo=wa ano hitaa ko-noo=na
 今日=TOP あの 人.TOP 来る-NEG.NPST=SFP
 今日はあの人は来ないな. [M]

10-11 あの人はその本を持って行かなかった. 【他動詞文の否定】

[a]no hita[a so]no ho[N]o moQ[te i]kanando[o]ni.
 ano hitaa sono hon=o moQ-te ika-nandoo=ni
 あの 人.TOP その 本=ACC 持つ-SEQ 行く-NEG.PST=SFP
 あの人はその本を持って行かなかったよ. [H]

10-12 にあるように, 「全ての学生が参加した」に当たる文のデフォルトの否定は全部否定になる. 10-12 の例は「どの学生も参加しなかった」の意味で使われている. 部分否定を表す場合は 10-13 のように文を名詞節に埋め込み, 名詞述語文の否定形式によって否定する. これは文の否定であり, 10-14 でも同様な形式が使われる.

10-12 全ての学生が参加しなかった. 【数量の全部否定】

ze[n]buno [ga]kuseeŋa sa[n]kasinan[do]o[na].
 zenbu=no gakusee=ŋa sankaa+si-nandoo=na
 全部=GEN 学生=NOM 参加+する-NEG.PST=SFP
 全ての学生が参加しなかったな. [M]

[mi]nna[no] ŋakuseeno sjuŋa [de]bara[na]kaQtooni.
 minna=no gakusee=no sju=ŋa debara-na-kaQtoo=ni
 全て=GEN 学生=GEN 人.PL=NOM 参加する-NEG-PST=SFP
 全て (lit. 皆) の学生たち (lit. 学生の人たち) が参加しなかったよ¹⁵. [H]

¹⁵ sju は漢語「衆」に由来すると思われ, 複数の人を表す.

10-13 全ての学生が参加したわけではない。【数量の部分否定】

su[be]teno [ga]kuseenja [sa]nka+sito[o] wa[ke]zjaa na[i]jjo.
subete=no gakusee=ŋa sankā+si-too wake=zjaa na-i=jo
全て=GEN 学生=NOM 参加+する-PST わけ=COP.ADV.LZ.TOP NEG-NPST=SFP
全ての学生が参加したわけではないよ。[M]

10-14 (私は買わなかった。しかし、決して) 値段が高いというわけではない。【文の否定】

[ne]danŋa [ta]ka[i]cjuu wa[ke]zjaa na[i]dooŋa.
nedan=ŋa taka-i=cju-u wake=zjaa na-i=doo=ŋa
値段=NOM 高い-NPST=QUOT.言う-NPST 訳=COP.ADV.S.TOP NEG-NPST=COP.NPST=ADVS
値段が高いというわけではないのだが¹⁶。[H]

禁止では動詞に接辞 -cjo が付く (10-15). -una が使われることもあるが、これは奈良田方言において -cjo よりも古い形かと思われる (10-16).

10-15 走るな！【禁止】

hasiQ[cjo].
hasiQ-cjo
走る-PROH
走るな。[M]

10-16 大きな声を出すな！【他動詞文の禁止】

[i]ka[i] ko[i]o da[su]na.
ika-i koi=o das-una
大きい-NPST 声=ACC 出す-PROH
大きな声を出すな。[H]

推量の否定は特別な形をとらず、否定に推量の =ra を組み合わせた形式が用いられる (10-17) ¹⁷. 目的節の否定は動詞の否定 -noo に目的節を表す =joo=ni が付いた形式で表される (10-18). 否定のスコープが述語ではなく文中の焦点部分にのみかかる場合は、10-19 のようにノダ文の否定形 =zjaa nai をとり、名詞述語文の否定形式にする。これは文を名詞節に埋め込んで否定のスコープを否定辞の直前の述語から拡張する操作である。

10-17 明日は雨はふらないだろう。【推量の否定】

[a]sita a[me]wa [hu]ra[nu]ra.
asita ame=wa hura-nu=ra
明日 雨=TOP 降る-NEG.NPST=INFER
明日は雨は降らないだろう。[M]

¹⁶ 逆接節の言いさしと思われる。

¹⁷ 動詞の否定辞には -noo と -nu があり、前者のほうが多用されるが、推量の =ra が後接するときは -nu=ra が用いられ、-noo=ra は用いにくい (小西ほか 2022: 38)。

10-18 あの人に聞こえないように，小さな声で話してくれ。【目的節の否定】

[a]no hito[ni ki]kasaranoojo[o]ni
 ano hito=ni kikasara-noo=joo=ni
 あの 人=DAT 聞こえる-NEG.NPST=様=COP.ADV LZ

[nu]koi ko[i]de hana[i]te {kurjoo / kurede}.
 nuko-i koi=de hanai-te {kurjoo / kure-de}
 小さい-NPST 声=INS 話す-SEQ {BEN.IMP / BEN-IMP.POL}
 あの人に聞こえないように，小さい声で話して {くれ／ください}. [M]

10-19 私はあなたを怒らせようと思ってそう言ったんじゃない。【否定のスコープの調節】

[o]rjaa o[i]sjoo [ku]cjuusiŋarase[ru tame[ni]
 orjaa oisjoo kucjuusi-ŋar-ase-ru tame=ni
 1.TOP 2.ACC 口惜しい-VBLZ-CAUS-NPST ため=DAT

iQ[to]ozjaa na[i][j]o.
 iQ-too=zjaa na-i=jō
 言う-PST=COP.ADV LZ.TOP NEG-NPST=SFP
 私はあなたを怒らせる¹⁸ために言ったんじゃないよ。[M]

内の関係の連体修飾においては関係代名詞を使わず，述語の断定形（動詞の非過去 -ru，過去 -too など）によって名詞が修飾される。目的語・主語・場所・所有者といった被修飾名詞の役割によって形式が変わることはない（10-20，10-21，10-22，10-23）。

10-20 私がきのう買った本はどこ（にある）？【内の関係の連体修飾節・目的語】

[o]reŋa [ki]njoo kaQte ki[to]o ho[N]wa do[ko]ni aruu.
 ore=ŋa kinjoo kaQ-te ki-too hon=wa doko=ni ar-uu
 I=NOM 昨日 買う-SEQ 来る-PST 本=TOP どこ=DAT ある-NPST
 私がきのう買った本はどこにある？ [H]

10-21 その本を持って来た人は誰（か）？【内の関係の連体修飾節・主語】

[so]no ho[N]o moQ[te] ki[to]o hita[a] da[re].
 sono hon=o moQ-te ki-too hitaa dare
 その 本=ACC 持つ-SEQ 来る-PST 人.TOP 誰
 その本を持って来た人は誰？ [M]

¹⁸ kucjuusi-ŋar- については注 6 を参照。

10-22 この部屋が私たちの仕事をしている部屋です。【内の関係の連体修飾節・場所】

[ko]no	[he]ja[a]	ura[ŋa]	sinotoo	[si]tee[ru]	heja[do]ojo.
kono	hejaa	ura=ŋa	sinoto=o	si-tee-ru	heja=doo=jo
この	部屋.TOP	1.PL=NOM	仕事=ACC	する-CONT-NPST	部屋=COP.NPST=SFP

この部屋は私たちが仕事をしている部屋だよ。[H]

10-23 足が一本折れたあのイスはもうすててしまった。【内の関係の連体修飾節・所有者】

[a]si[ŋa]	iQ[po]N	[ku]ziketo[o	a]no	isuuwa	ha[i]	ubu[cja]aQtoo[jo.
asi=ŋa	iQ-pon	kuzike-too	ano	isuu=wa	hai	ubucaaQ-too=jo
足=NOM	一-CLF	折れる-PST	あの	イス.ACC=TOP	もう	捨てる-PST=SFP

足が一本折れたあのイスはもう捨てたよ。[M]

外の関係の連体修飾も基本的に内関係と同じように表され、形式的な差異はない(10-24)。ただ、連体修飾節が発話や思考内容を表す場合は、引用節標識「と」と動詞「言う」に当たる形式から発達した =cju-u という形式が連体修飾することがある(10-25)。

10-24 ドアをたたいている音が聞こえる。【外の関係の連体修飾節】

do[a]a	tata[i]teeru	[o]to[ŋa	ki]kaasaru[jo.
doaa	tatai-tee-ru	oto=ŋa	kikaasar-u=jo
ドア.ACC	たたく-CONT-NPST	音=NOM	聞こえる-NPST=SFP

ドアをたたいている音が聞こえるよ。[M]

10-25 あの人が結婚したといううわさは本当(か)? 【外の関係の連体修飾節】

[a]no	[hi]to[ŋa]	keQkonsite	i[to]ocjuu	[u]wasawa	[ho]nmadu[ra[ka.
ano	hito=ŋa	keQkon+si-te	i-too=cju-u	uwasa=wa	honma=dura=ka
あの	人=NOM	結婚+する-SEQ	CONT-PST=QUOT.言う-NPST	噂=TOP	本当=COP.INFER=Q

あの人が結婚していたといううわさは本当(lit. 本当だろうか)? [H]

時間節は ori (10-26)、場所節は toko (10-27) を被修飾要素とした連体修飾によって表される。

10-26 私はその人が来た時にご飯を食べていた。【時間節】

[o]rjaa	[so]no	hito[ŋa]	ki[to]o	o[ri]	mesjo[o]	kuQ[te]etoodoojo.
orjaa	sono	hito=ŋa	ki-too	ori	mesjoo	kuQ-tee-too=doo=jo
1.TOP	その	人=NOM	来-PST	時	飯.ACC	食う-CONT-PST=COP.NPST=SFP

私はその人が来た時、ご飯を食べていたんだよ。[H]

10-27 私はその人がまっている所に行った。【場所節】

[o]rjaa	[so]no	hito[ŋa]	maci[te]eru	toko[i	i]Qto[o][jjo.
orjaa	sono	hito=ŋa	maci-tee-ru	toko=i	iQ-too=jo
1.TOP	その	人=NOM	待つ-CONT-NPST	所=ALL	行く-PST=SFP

私はその人が待っている所へ行ったよ。[M]

補文節のうち，知覚・知識動詞の補語は動詞の断定形によって表される．準体助詞を用いない場合もあるが，準体化形式として *jatu* が使われる例も見られた (10-28, 10-29)．これらの補文節には格を付加することができる．知識動詞の補語の場合は，10-30 のように *koto* による補文節が使われることもある．

10-28 私はその人が走っていったのを見た．【補文節・視覚】

[o]rjaa	[so]no	hito[ŋa]	hasiQ[te]	iQto[o]o	mi[to]o[jo].
orjaa	sono	hito=ŋa	hasiQ-te	iQ-too=o	mi-too=jo
1.TOP	その	人=NOM	走る-SEQ	いく-PST=ACC	見る-PST=SFP

私はその人が走っていったのを見たよ．[M]

[o]rjaa	[so]no	hito[no]	hasiQ[te]erujatuu	mi[to]odoo[jo].
orjaa	sono	hito=no	hasiQ-tee-ru=jatuu	mi-too=doo=jo
1.TOP	その	人=GEN	走る-CONT-NPST=NMNL.ACC	見る-PST=COP.NPST=SFP

私はその人が走っているのを見たんだよ．[H]

10-29 きの中の夜，私はあの男たちがしゃべっているのを聞いた．【補文節・聴覚】

[ki]njoono	jo[ru]	o]rjaa	[a]no	otokoda[ciŋa	sja]bekuQte[ru]u	kiito[o]jo.
kinjoo=no	joru	orjaa	ano	otoko-daci=ŋa	sjabekuQ-te-ruu	kii-too=jo
昨日=GEN	夜	1.TOP	あの	男-PL=NOM	しゃべる-CONT-NPST.ACC	聞く-PST=SFP

きの中の夜，私はあの男たちがしゃべっているのを聞いたよ．[M]

[ki]njoono	jo[ru]	o]rjaa	[a]no	otokosju[no
kinjoo=no	joru	orjaa	ano	otoko-sju=no
昨日=GEN	夜	1.TOP	あの	男-人.PL=GEN

sja]beQte	i[ru]ja[tu]u	[ki]ito[o]doo[jo].
shabeQ-te	ir-u=jatuu	kii-too=doo=jo
しゃべる-SEQ	CONT-NPST=NMNL.ACC	聞く-PST=COP.NPST=SFP

きの中の夜，私は男の人たちがしゃべっているのを聞いたんだよ．[H]

10-30 私はその人がきの中ここに来たのを知っている．【補文節・知識】

[o]rjaa	[so]no	hito[ŋa	ki]njoo	ko[ko]i	ki[to]oo	siQtee[ru]jo.
orjaa	sono	hito=ŋa	kinjoo	koko=i	ki-too=o	siQ-tee-ru=jo
1.TOP	その	人=NOM	昨日	ここ=ALL	来る-PST=ACC	知る-CONT-NPST=SFP

私はその人がきの中ここへ来たのを知っているよ．[M]

[o]rjaa	[so]no	[sju]ŋa	[ki]njoo	[ko]koi	ki[to]o	koto[o]	siQtee[ru]doo[de].
orjaa	sono	sju=ŋa	kinjoo	koko=i	ki-too	koto=o	siQ-tee-ru=doo=de
1.TOP	その	人=NOM	昨日	ここ=ALL	来る-PST	事=ACC	知る-CONT-NPST=COP.NPST=SFP

私はその人がきの中ここに来たことを知っているんだよ．¹⁹ [H]

¹⁹ *sju* は本来的には複数の人を表すが (注 15)，ここでは単数か．

引用節は =cite という標識によって表される。直接話法と間接話法の区別は明確でなく、時制やダイクシスの調整はない。10-31 において以下の二文は同じ事態を表しうる。

10-31 (昨日) あの男は自分が昨日ここに来たと言った。【補文節・間接話法】

(昨日) あの男は、「私は今日ここに来た」と言った。【補文節・直接発話】

[a]no	otoka[a]	tema[i]ŋa	[ki]njoo	kokoni	ki[to]ocite	iQto[o][j]o.
ano	otokaa	temai=ŋa	kinjoo	koko=ni	ki-too=cite	iQ-too=jo
あの	男.TOP	REFL=NOM	昨日	ここ=DAT	来る-PST=QUOT	言う-PST=SFP

あの男は自分が昨日ここに来たと言ったよ。[M]

[ki]njoo	[a]no	otoka[a]	o[r]jaa	kjo[o]	kokoi	ki[to]ocite	iQto[o][j]o.
kinjoo	ano	otokaa	orjaa	kjoo	koko=i	ki-too=cite	iQ-too=jo
昨日	あの	男.TOP	1.TOP	今日	ここ=ALL	来る-PST=QUOT	言う-PST=SFP

昨日あの男は、「私は今日ここに来た」と言ったよ。[M]

主要部内在型関係節は生成可能だが、使いにくさが伺える。10-32 では理由節が挿入句になっている文が回答された。10-33 では最初は ki-too=de という理由節にあたる発話が得られた。

10-32 私はリンゴが(あの)皿の上にあったのを食べた。【内在節・従主・主主】

[o]rjaa	[ri]ŋjo[o]	[a]no	sa[r]ano	u[en]i	aQ[to]odoo[de]	kuQ[to]odoo[jo.
orjaa	ringo=o	ano	sara=no	ue=ni	aQ-too=doode	kuQ-too=doo=jo
1.TOP	林檎=ACC	あの	皿=GEN	上=DAT	ある-PST=CSL	食う-PAT=COP.NPST=SFP

私はリンゴを、あの皿の上にあったので、食べたんだよ。[H]

10-33 私はネコが家に入ってきたのをつかまえた。【内在節・従主・主目】

[o]rjaa	ne[ko]ŋa	[je]e[sa]	ha[i]Qte	{ki[to]oode / ki[to]oo}
orjaa	neko=ŋa	jee=sa	haiQ-te	{ki-too=de / ki-too=o}
1.TOP	ネコ=NOM	家=ALL	入る-SEQ	{来る-PST=CSL / 来る-PST=ACC}

{tuka[ma]itoo[jo / tuka[ma]eta}.

{tukamai-too=jo / tukamae-ta}

{つかまえる-PST=SFP / つかまえる-PST}

私はネコが家へ {入ってきたので / 入ってきたのを} つかまえた (よ)。[M]

略号一覧

-	接辞境界	HS	伝聞
=	接語境界	IMP	命令
+	複合語内の形態素境界	INFER	推量
1	1 人称	INS	具格
2	2 人称	LMT	限定格
ABL	奪格	MUL	並列
ACC	対格	NEG	否定
ADD	累加	NMNL	名詞化
ADN	連体	NOM	主格
ADVLZ	副詞化	NPST	非過去
ADVS	逆接	OPT	希望
ALL	向格	PASS	受身
BEN	受益，与益	PFV	完了
CAUS	使役	PL	複数
CLF	類別	POL	丁寧
CMP	比較格	POS	可能性
COM	共格	POT	可能
COND	条件	PROH	禁止
CONC	逆接仮定	PRSM	推定
CONT	継続	PST	過去
COP	コピュラ	Q	疑問助詞
CSL	理由	QUOT	引用
DAT	与格	RECP	相互
EMPH	強調	REFL	再帰
EXPL	例示	RST	限定
EXT	極限	SEQ	中止
FOC	焦点	SFP	終助詞（疑問助詞はのぞく）
GEN	属格	SIM	同時
HCR	尊称	TOP	主題
HOR	勧誘	VLZ	動詞化

参考文献

- 稲垣正幸，清水茂夫，深沢正志編. 1957. 『奈良田の方言』甲府：山梨民俗の会.
- 上野善道. 1975. 「アクセント素の弁別的特徴」『言語の科学』6: 23-84.
- 上野善道. 1976. 「奈良田アクセント素の所属語彙」『文経論叢文学篇』11: 1-32.
- 上野善道. 1977. 「奈良田方言の基礎語彙」『文経論叢文学篇』12: 1-13.
- 上野善道. 1981. 「奈良田方言の基礎語彙 2」『金沢大学文学部論集文学科篇』1: 63-92.
- 上野善道. 1989. 「日本語のアクセント」杉藤美代子編『講座日本語と日本語教育 2 日本語の音声・音韻（上）』178-205. 東京：明治書院.
- 国立国語研究所編. 1966-1974. 『日本言語地図』1～6 集，東京：大蔵省印刷局.

- 国立国語研究所編. 1989-2006. 『方言文法全国地図』1～6 集, 東京: 財務省印刷局.
- 国立国語研究所. 「日本語危機言語: 日本の消滅危機方言の音声データを紹介するサイト 語彙データ」
<http://kikigengo.ninjal.ac.jp/data/tango/search> (2024.12.18 閲覧)
- 小西いずみ. 2021. 「方言の島」山梨県奈良田の言語状況『文化交流研究』34: 87-94.
- 小西いずみ. 2022. 「山梨県奈良田方言の疑問文: 準体助詞のない方言におけるスコープ, 事態既定性」
『日本語文法学会第 23 回大会予稿集』1-8.
- 小西いずみ, 三樹陽介, 吉田雅子. 2022. 「山梨県早川町奈良田」セリック・ケナン, 木部暢子, 五十嵐陽介, 青井隼人, 大島一編『日本の消滅危機言語・方言の文法記述』77-150. 東京: 国立国語研究所言語変異研究領域.
- 阪上健夫, 小西いずみ, 三樹陽介, 吉田雅子. 2024. 「奈良田方言: 特集補遺データ「受動表現」「ヴォイスとその周辺」「アスペクト」「モダリティ」「所有・存在表現」」『語学研究所論集』28: 32.
- 地域資料デジタル化研究会. 2013. 『方言の島 奈良田のことば』(DVD), 甲府: 地域資料デジタル化研究会.
- 西山村総合学術調査団編. 1958. 『西山村総合調査報告書』甲府: 山梨県教育委員会.
- 吉田雅子. 2014. 「山梨県甲府市方言」方言文法研究会編『全国方言文法辞典資料集 2 活用体系』53-65.

謝辞

奈良田方言をお教えたくださった深沢實さん, 深沢はな江さん, 深沢いさをさんに御礼申し上げます. 本稿は JSPS 科研費 20H00015, 21H04351, 22K00598, 23H00007, 23H00634, 国立国語研究所共同研究プロジェクト「消滅危機言語の保存研究」「日本語・琉球語諸方言におけるイントネーションの多様性解明のための実証的研究」の助成を受けている.

執筆者連絡先: sakagami-t@g.ecc.u-tokyo.ac.jp (阪上), YQA01642@nifty.ne.jp (吉田),
ymiki3@komazawa-u.ac.jp (三樹), ikonishi@l.u-tokyo.ac.jp (小西)

原稿受理: 2024 年 12 月 24 日